

商 況

販 賣 旬 報 第 252 號 昭 和 9 年 1 月 23 日

製 鐵 所 販 賣 部

終 刊 の 辭

日本鐵鋼界の一新紀元を劃すべき日本製鐵株式會社の創立も目睫の間に迫り、明治 33 年創設以來 35 年の歴史を誇り、常に日本に於ける鐵鋼の中心となつて居た製鐵所も之に参加し 2 月 1 日より新たな使命の下に見へる豫定との事であるから、製鐵所としての此販賣旬報も今回を以て終刊となつた。

顧みれば此販賣旬報が大正 15 年 5 月に創始せられてより回を重ねること 252 號、年を閲すること正に 9 歳然も此 9 年は日本の鐵鋼界としては他の 20 年 30 年に比すべき程の長足の進歩と發展とをなした、即ち製鐵所販賣部が大正 15 年 2 月に外注防遏の大旗を翳して東京に進出して以來、あらゆる苦難と闘ひ遂に自給自足の階梯も乗り越えて正に獨立の基礎を固むる今日に至つた事を思へば如何に波瀾起伏があつたかは想像に難くない。特に昭和 3 年の變態的好景氣の美酒に酔ひしれた後の反動不安時代、昭和 5、6 年に於ける鐵鋼統制機關の完成や昭和 6、7 年の深刻なる恐怖時代、或は今日も猶夢路を辿る様な昭和 7 年下期よりの狂奔など忘れ得ぬ思出の數々である。

前述の如く最近 10 年に於ける日本鐵鋼の躍進の目醒ましかつた事は確かである。然し靜かに胸に手を當て、考ふる必要がある。大正末期に 150 萬噸内外の生産が、今日如何程に増したか未だ 300 萬噸に満たぬではないか、總括的には世界の五大國の一を以て誇る日本が、其鐵鋼の生産に於て猫額大の自耳義や荒廢を傳へらるゝ露西亞の糟粕を嘗めて居るとは寔に皮肉である、世界の年産額 8,000 萬噸として日本は其幾分を擔任して居るか、それを思へば飛躍したとは云へ、所謂未だ無鳥里の蝙蝠で貧弱極まるものである。

其意味より云へば熔鑄爐の増設も必要である。平爐の殖へるも喜ぶべきである。工場の擴張多々益々辯ずである。

原料の所在や距離は勇猛心の前には發見もされ短縮もされて何等憂ふるに足らぬ。

印度に於て未だ我鐵鋼界が壓迫された事も聞かねば、米國に於て我鐵鋼が特に高率關稅を課せられたと云ふ事も見ぬ、市場は廣い心を安んじて可なりである。

されど、されど、されど、これは徒らなる大言壯語であつてはならない。周到なる準備と、充分なる實力を有してこそ初めて斯る言が許さるべきであらう。

即ち我國の生産費が遠く海を渡り、彼等の關稅の障壁を乗り越えて猶且彼等の生産費に拮抗し得る迄は精進しなければならぬのである。換言すれば外注追従の主客が轉倒せぬ限り我國鐵鋼の獨立は完成されぬと云ふべきである。此事たるや實に困難なる事業ではあるが、今日迄の發展の跡を顧みれば決して空想ではなく成否は懸つて各自の精進の如何にある。

謹みて 明治天皇の 御製を拜誦する。

大空に聳えて見ゆる高嶺にものぼればのぼる道はありけり
窮りなき悠久の時より見れば、9 年の歳月は一瞬とも云へよう。
然し來し方を振り返り見れば其間盡きせぬ迂餘曲折があつて忘れられぬ思ひ出の種もある鐵鋼に就ても遠き將來に於て之を顧みれば

此 10 年の如きは或は短かきものかも知れぬが其間に於ける外注驅逐の成果と日本製鐵創立の二事は永久に紀念すべき歴史となるであらう。

劃期は人の心を新たに、希望を興へる、夜來の雪は萬象を一色に包み未だ明けやらぬ天地は寂として聲もないが、やがて明け行く明朗の曉を思へば心は躍る。此劃期的頂點に立ちて販賣旬報終刊の筆を擱くに當り新たに生まるゝものに對し滿腔の希望と期待を繋ぐものである。(20 日午前 5 時)

3、4 月積先物協議會一据置

月日場所 1 月 11 日 製鐵所東京出張所

出席者 4 社、3 都問屋及製鐵

議 事 1) 3、4 月積先物賣出に關する件

新春劈頭他鋼材の協議會に先ち開かれたのが製鐵所の先物協議會で然も今回の協議會は寔に記念すべきものとなるであらう。

それは永い間の懸案であつた製鐵合同が諸種の情勢から見て愈々目睫の間に迫つて恐らく之が製鐵所の名に於て行はるゝ最後の協議會と思はれるからである。顧れば此製鐵所の先物協議會は他の協議會理事會に比し實に意義深きもので將來に於ても決して忘るゝことの出來ぬ記念的事實である。換言すれば此先物協議會は日本に於ける鐵鋼の發達史とも見るべきもので其發祥は大正 14 年 5 月で正に 10 年の歳月を閲して居る。

此 10 年は鐵鋼界の過去から見れば決して永いものではないが、此間に於ける鐵鋼界の變化は實に目まぐるしいもので、要約すれば外注時代より内外鬭争時代を過ぎて自給自足より鐵鋼獨立と云ふ四時代を経て居るのであることを考ふれば如何に變轉極まりなきものであつたかと窺はれよう。

其協議會も愈々最終と思へば寔に感慨無量である。

3、4 月積先物協議會

品 種	區 分	入電沖着	河岸着値段 (爲替 1/2-1/4)	希望	決定	備考
角 鋼	ベース	£ 5-2-9	¥ 112.40	106		据置
平鋼(本所分野)		5-2-9	112.40	106		〃
大型山形鋼		5-4-0	113.43	105		〃
工形鋼		4-19-0	109.29	101		〃
溝形鋼(吋寸法)		5-10-3	118.62	114		〃
〃(耗寸法)		4-18-3	108.66	101		〃
丸 鋼	ベース	£ 5-2-9	112.40			
〃	9mm	5-17-6	124.52			
中小型山形鋼		5-2-9	112.40			
鋼板	6mm 以上	6-12-0	136.55			
〃	4.5mm	6-19-6	142.75			
〃	3.2mm	7-3-3	145.79			
〃	2.3mm	6-15-0	145.86			
〃	1.6mm	6-19-0	149.17			
薄 鋼 板		12-10-0	254.52			
線材	B.W.G.No 5	-	-			
鉄力板	170 lbs	1-13-5	29.85			
〃	100 lbs	0-18-1	16.22			

そこで今月の協議會の買手側の意見は外注値段も市中狀勢も前月に比し大なる變化もなく三都の希望としては、大阪は外注値段を参照して餘り接近しある溝形の時を 2 圓下げ東京は溝の時 2 圓下げの耗物を 1 圓下げ、名古屋は据置きにても可なるべし等種々の意見はありたるも、是れとても強いて主張すべき程の理由もなく製鐵所として恐らく最後の協議會にてもあり、新年劈頭より兎や角議論すべ

き程度にもあらざるを以て全部据置きと云ふ希望に取纏め當所も之に同意し和かなる氣分の裡に最後の協議會の幕を閉づることゝなつた。

2) 溝形鋼指定寸法増加の件 10.5mm×380mm×100mmの溝形鋼は相當需要もありながら指定寸法となり居らざる爲め甚だしく不便なるを以て之を加へられたしとの事にて之を指定寸法として取扱ふことゝした。

3) 數量 申込みを見たる上決定する事とした。

3、4月積角平賣出協議會一値下げ

月日場所 1月12日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵4社及東西定期團

議事 1) 3、4月積角平賣出に關する件

棒鋼の額勢は他鋼材の堅調とは全く別世界で、丸鋼に引き込まれて、角平も中々支ふるに困難で其上例の伸鐵も5圓程度の値下げを敢行したので前月の如く据置きを以て進むことは許さぬ情勢となり只平鋼の70mm以上に就ては賣手は一擧の値下げを豫み又伸鐵の脅威薄しと云ふ判断より97圓を主張したるも、大阪方面は脅威に直面し居る關係上6圓程度の値下げを要望したる趣旨より是非96圓にせられたしとの事にて買手希望を容れ値段は次の通り決定した。

角	12mm—22mm	88圓(2圓下げ)
	25mm—50mm	95圓(1圓下げ)
	55mm以上	102圓(1圓下げ)
平	36mm以下	88圓(2圓下げ)
	70mm以上	96圓(3圓下げ)

2) 數量 仲介者の要望もあり製鐵所も相當出荷し得る自信も付きたるを以て定期契約數量たる3,000噸を賣出さんとしたるに意外にも買手側は減額申出であつた。之は仲介者と定期團との誤解もありたることと思はれ且つ好調期に於て當所が1,500噸に制限したる事もあるを以て特に強要すべき意志はなきも、餘り束縛さるゝも片務的なる故殘部は自由に販賣するやも知れずと提案したるに對し斯くては定期の根本問題に觸るゝを以て考慮期間を與へられたしとの東京定期團より反對があつて、一時停頓したが決局買手も好調期の製鐵所制限賣出に當時必しも節操を守りたる者のみにはあらず、所謂「規格品」なる緩和劑を吸ひたる事實はあるも之れも已むを得ざる事情に基きたるものにて將來製鐵所にて必要數量の賣出しをなせば其積りにて仕入れも考ふるを以て總ては製鐵所に信頼して其提案通り今月は次記の數量の引受けをなすことゝした。

中型角、平 700 噸 小型角、平 1,500 " 計 2,200 "

3、4月積9mm中丸賣出協議會—9mm3圓下げ中丸据置

月日場所 1月12日 東京丸ノ内會館

出席者 關東鋼材、製鐵4社及第一回定期團

議事 3、4月積9mm中丸賣出に關する件

1) 9mm 現在の環境は在庫はさして豊富にはあらざるも丸鋼の不冴と伸鐵の脅威及び大阪に於けるベース物先物入札の82圓程度の安値落札に氣を腐らし東西共成行86圓を彷徨して居るため之れのみより判断すれば83圓に値下げ希望なるも、他との振合ひもあれば、84圓とせられたしとの意見であつた。然し荷渡しの時期も3、4月の需要期に直面し手持も潤澤ならず一氣の値下げも益々市況を悪化せしむる素因ともなれば3圓値下げが至當なるべしとの賣手側意見により買手の同意を見て其旨關東鋼材理事會へ具陳することゝした。數量も4,100噸とした。

2) 中丸 外注品との關係もあつて前月通り据置きとし其旨具陳することゝした。

外 注 入 電

9mm	5—17—6	125.37
中丸	5—5—0	114.92
Ex.	1/2—1/8	

2、3月積鐵力板賣出協議會一据置

月日場所 1月16日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵4社、東西問屋

議事 2、3月積鐵力板賣出に關する件

1) 狀勢 一夜にして總ての狀勢は急變した。昨日までは米國の平價切下げ問題も一抹の不安はありながら現實には現はれなかつたが今朝の新聞に一齊に報ぜられた通り米國の平價切下げが急遽實際化し今は其程度問題を殘すのみとなり、從つて鐵力板に關する限り極度の不安に襲はれて現在では全く歸趨に迷ふ様な狀態に陥つた。

2) 買手提案 外注の内、米國物は前月に比し上伸氣勢を示し、獨逸物 cost は僅少の値上げをした。爲替は前月の30-3/4より見れば30-1/2と一應は軟調にして市中も26圓2、30錢、14圓3、40錢とどうやら採算に合ひたる爲め大體据置き希望と云ふが昨日までの形勢であつた。處が今朝に至つて爲替は前途の見透し全く無くそれが爲め賣買共總見送りにて神戸のナショナル・シチー・バンクの如き30-7/8まで賣應じたとの報もありたるも、米國の平價切下げに對する實際の狀態は確實に把握し得ず、只4割以上の切下げが確定したと云ふ程度なるが之れより諸種の狀勢を綜合して、爲替の昂騰と物價の追従を加味すれば5%位の値下げの餘地あるとも判断せらるも之も假定に過ぎず要するに全然氣迷ひ狀態なるを以て、是等の全貌が或程度明瞭となるも餘り遠き將來にもあらざると思ふ故、一應今日は賣出すと云ふことのみにて値段の決定は1週間或は10日位延期せられたしと云ふ意見と變じたるも、若し製鐵所の意見が爲替問題はそれとして今日直ちに是非値段を決定するとすれば前述の如き理由より大體5%程度の値下げを願度きも、今日は斯る架空の論據により値段を決定するよりも第一案通り延期願ふが最も穩當と考ふるを以て是非その様に決定せられたし。

3) 賣手提案 爲替問題は考へ様によつては今日只今出現したる譯にても無く、是等の條件も過去に於て相當織り込まれあるとも判断せらるゝが、今朝の興奮せる狀態よりすれば極度の硬軟の思惑も無理からぬ事とも思はる、然るに製鐵所の賣出數量も未だ僅少にて値段決定を延期する程の實狀にもあらざるものと考へらる。

一方製鐵所の新鐵力工場も奇遇にも本日よりロール開始の豫定にて、3月に入れば鍍金も開始せらるゝ管なるを以て兎に角一應賣出すことゝして希望の向にだけ買取り願ふことにした。

a. 値 段 据置きの次記とした。

100封度 13圓70錢(据置) 170封度 25圓60錢(")

b. 數量 大凡1,600噸程度の賣出しとした。

4、締 切 本月中

Quotation for Tin Plates Fed./March shipment

(15th Jan., 1934)

German Make

	170lbs.	200lbs.
C. I. F.	G\$ 7.50	G\$ 8.00
Exch. 30-1/2	¥ 24.59	¥ 26.23
Interest. 1.3%	0.32	0.24
Duty	1.22	1.44
Charges	0.10	0.15
	¥ 26.23	¥ 28.06

American Make

	G\$ 7.75(G\$ 7.92)	G\$ 8.13(G\$ 8.28)
Exch. 30-1/2%	¥ 25.41(¥ 25.97)	¥ 26.66(¥ 27.15)
Interest 0.9%	0.23	0.24
Duty	1.22	1.44
Charges	0.10	0.15
	¥ 26.96	¥ 28.49

2、3月積精線會賣出協議會

月日場所 1月17日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵、岩井、安宅、日商

議事 2、3月積特殊線材賣出に關する件

特殊線材の外注値段は別表の通り前月と大なる變化も認められず概念としては据置きなるも從來の値鞘の關係より未だ入荷せざるものに値上げと云ふ變化あることは實情困難なる故部分的に値下げ願度しと云ふ買手側希望ありたるも、賣手の意見は此際一々部分的に検討する時は全部に亘り變動せしむる様にもなる故今回は大體据置きと云ふことを提案し其通り決定した。

數量に就ては逐次市場を培養する意味より前月より若干増加し次の通り賣出すこととした。

製鐵所 1,590 神戸 1,590 計 3,180

Jan. 17, 1934

SPECIAL WIRE RODS

February 1934 Shipment

	High Carbon	Copper Bearing	Wood Screw
	\$33.00	£6-9-0	£6-17-3
Exch. 30%	116.59	Exch. 1/2-1/4 108.94	115.58
Int. 1%	1.16	Int. 1.3% 1.42	1.50
Charges	1.20	1.20	1.20
Duty	22.01	22.01	22.01

¥ 140.96

¥ 133.57

¥ 140.29

Per 1,000 kgs. 138.87

¥ 131.60

¥ 138.21

	Welding	Low Carbon	Thick Gauge.
	£6-3-3	£6-2-6	£6-5-0
Ex. 1/2 1/4	103.79	103.15	105.26
Int. 1.3%	1.35	1.34	1.37
Charges	1.20	1.20	1.20
Duty	22.01	22.01	22.01

¥ 123.35

¥ 127.70

¥ 129.84

Per 1000 kgs ¥ 126.45

¥ 125.81

¥ 127.92

	Telegraphic
	\$ 33.50
Ex. 30%	108.47
Int. 1%	1.08
Charges	1.20
Duty	22.01

¥ 132.76

Per 1,000 kgs ¥ 130.78

3月積三S會賣出協議會一据置

月日場所 1月19日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、高島屋、日立及製鐵

議事 3月積珪素鋼板賣出に關する件

1) 値段 別項外注中歐洲物は昨日の入電なるも米國物は未だ明瞭ならず先月のまゝを採用した。河岸着にては歐洲物が若干安値となり米國物は高値を報ずるもこれだけの材料を以てしては、上下共動かす程の理由ともならざる故今月も据置きとされたしと云ふ買手希望ありて次記の通り据置きと決定した。

記

(イ) 電働機用珪素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 305 圓(据置)

裸バンド締のもの " 金 295 圓(ク)

(ロ) 電働機用珪素鋼板 C 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 325 圓(据置)

(ハ) 電働機用珪素鋼板 D 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 345 圓(据置)

(ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 420 圓(据置)

(ホ) 2 級品 3 割見當混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと

(ヘ) 珪素鋼板厚物は 1 級品は金 10 圓引其他のものは各種共金 5 圓引のこと

2) 數量 今月は若干増加して 1,300 噸程度の賣出しとした。

3) 締切 1月25日

LATEST CURRENT PRICES OF FOREIGN ELECT. STEEL SHEETS

Tokyo, January 11th. 1934

	English(Ex. 1/2 1/4)	American Ex. \$30
	Stalloy Spec. Lohys (T) (B)	Apollo Armco Special Trancor#2 U. S. Electrical (T) (B)
Cif per. 2,240lbs.	£27-11-6	£21-2-6 \$133.88 \$135.91 \$105.20
	¥464.41	¥355.78 ¥446.25 ¥453.62 ¥350.65
Interest 1.3%	6.04	4.62 5.80 5.89 5.86
Import Duty	6.77	6.77 6.77 6.77 6.77
Landing Charges 1.10	1.10	1.10 1.10 1.10 1.10
Per Long ton	¥478.32	¥368.27 ¥459.92 ¥466.78 ¥364.38
Per 1,000 kg.	¥470.76	¥362.45 ¥452.65 ¥459.40 ¥358.62

3、4月積美板會賣出協議會一据置

月日場所 1月19日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、高島屋及製鐵

議事 3、4月積美裝鋼板賣出に關する件

1) 値段及數量 番物が入荷の偏在、手持の豊富及一般厚物の安値に脅かされ漸次軟化しあるを以て大阪方より相當値下げを希望されたるも寧ろ數量を減少して値段は据置が可なるべしとの意見に一致して次の通り決定した。

(1) 値段据置 (2) 番物の注文を減少すること

2) 締切 1月25日

3、4月積中山共販賣出理事會一据置

月日場所 1月12日 東京丸の内會館

出席者 鋼管、東海、製鐵四社及東西定期團

議事 3、4月積中型山形鋼賣出に關する件

1、買手希望

(イ) 値段 定期更改第 1 回の賣出の協議會を開催された、時偶々日本製鐵の創立を目前に控へ製鐵所として参加の共販も今回が最終となることを豫想された。

買手の意見は今日の中山の狀勢は市中は賣止めと統制及び手持の減少に依り東西共 100 圓臺に戻りたるも、大阪は丸鋼の極端な安値に脅されて是れとのバランスより見て先行に不安あるも之れとて、將來に對する考慮にて現在の大勢を動かすものにもあらざるを以て前々月据置きに次記とする代りに、將來は丸鋼との値鞘を 5 圓程度に考慮するゝと共に萬一共販解消等の出來たる場合には其時の情況に應じ解約等は規約に準じ實施されたしとの希望があつた。

記 等邊山形鋼 96 圓 不等邊山形鋼 97 圓

(ロ) 數量 定期の基準數量とすること、共販の意見として定期の性質上契約されたる數量だけは引受ける事を申出でられたるも

買手の意見は東京は兎に角大阪には先般も中型山形の安値物が流布されたるを以て引受組合にて4,500 吨のものを買漁りたるに之は全部神戸製鋼製品にて然も猶 500 吨位も引受くべしとの事もありたる事實より押して、丸鋼との値開きは相當の關心を持たれたしとの希望があつた。

2、理事會 買手は今朝の新聞等に散見さる如く日本製鐵の成立と同時に共販が解消せらるれば其影響する處甚大にて中型山形の定期契約の將來に就ても多大の危懼の念を懷き種々の提案もありたるも、元來日本製鐵の設立の趣旨より判斷しても、鐵鋼界の統制は強化こそすれ、之れを混亂せしむるが如きことは恐らくあるまじく従つて形式上に於ては當然變化は豫想さるゝも實質に於て不安を誘ふが如きことは想像せられず、各組員共其趣旨なる旨買手側に説明をされた。

値段に就ては買手要望通り前々月据置きの次記に決定した。

記 等邊山形鋼 96 圓(据置) 不等邊山形鋼 97 圓(据置)

數量も買手の意見を斟酌して 6,000 吨とした。

3、締切 1月20日

3、4月積中板共販賣出理事會一据置

月日場所 1月13日 製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及4社

議事 3、4月積中板賣出に關する件

1、値段 中板の外注値段は他の鋼材の軟調に逆行して、僅少ではあるが上伸氣勢を見せて居る。内地市場も昨年暮に小戻しをしたまゝ堅調を續け 16の3×6の如きもアウトサイダーの進出を懸念しての手控へが削いて寧ろ反撥氣勢となり、在庫も常態を續けて居る状態にて特に値段を上ぐる迄には至らざるを以て全部据置きとし只 45の耳付だけ 115 圓と定尺との値開きを 9 圓とせられたしとの希望ありたるも、共販としては耳付を出したる趣旨より見て餘りに値鞘を擴大するは一考を要するを以て當分一應据置きとして情勢を觀望すべしと云ふ共販側の意見により今回は全部据置とした。

16mm 23mm 32mm 45mm
142圓(据置) 137圓(〃) 132圓(〃) 124圓(〃) 耳付6圓引き

2、數量 例の通り申込を見たる上適宜決定することとした。

Chuita March/April Shipment

13th Jan 1934

March/April shipment		Kilo		Kette
16mm	6-17-6	148 94	142 00	142
23	6-11-6	143 92	137 00	137
32	7- 3-3	146 91	132 00	132
45	6-10-9	136 48	124 00	124

Ex. 1/2-1/6

3、4月積小型山形共販賣出理事會一据置

月日場所 1月15日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石 製鐵及三井

議事 3、4月積小型山形鋼賣出に關する件

此小型山形鋼共販は昭和6年3月に設立された。其當時の狀態としては中山共販が成立難に陥り、如何に變轉するや逆踏し得ざるものであつたが其際僅か1日にして成立した此共販は其の先驅、刺戟劑となつて中山共販の成立を促進せしめたのであつて、之れによつて日本の鋼材の大部分が統制下に入つたことを思へば、數量こそ少いが寧ろ意義深い記念すべき共販と云はねばならない。

それも豫定通り進捗するものとすれば釜石の日本製鐵参加により回を重ねること 35 回の今回の理事會を最後として共販と云ふ形式

は一應解消することとなる。然しこれは 2 つの所社が 1 社に纏つたものであるから實質としては益々堅確になつたものと云へる。

Small Size Equal Angle Quotation

Tokio, Jan. 15th. 1934

Specification	Hamburg, Exch. @ Jan. 12th	1/2-1/6	To-day's Market Price		May. Apr. shipment
			Tokio	Osaka	
mm mm					
1/8" x 1/8" (3x20)	£6-5-6	¥131 73	¥110 00	¥112 00	@ ¥ 108
1/8" x 1" (3x25)	5-16-6	124 23	103 00	100 00	100
1/8" x 1 1/4" (3x30)	5-12-0	120 48	103 00	100 00	
1/8" x 1 1/2" (3x40)	6- 1-6	128 40	105 00	102 00	95
3/16" x 1 1/4" (5x30)	5-12-0	120 48	100 00	98 00	
3/16" x 1 1/2" (5x40)	5-12-6	120 48	90 00	88 00	95
1/4" x 1 3/4" (4x45)	5- 7-6	116 74	120 00	120 00	
1/4" x 1 1/2" (-)	5-12-0	120 48	92 00	96 00	95
1/4" x 1 3/4" (6x45)	5- 7-6	116 74	105 00	98 00	

今日に於ける市中の情勢は在庫は大凡 3,000 吨程度で前月と變らざるも、賣行は追々不振となり従つて値段も漸落を辿り、一方外注も軟勢となりたるを以て買手希望は 3mm 厚 5 圓下げ、5mm 厚 8 圓乃至 10 圓値下げなるを以て若し是非賣る爲めには此希望を相當考慮必要あるのみならず、大阪に於ては伸鐵値段の關係もありて 3mm 厚が壓迫され勝ちなる事も念頭に置かれたしと云ふ希望案があつた。

共販の形式としては前述の如く、變轉は豫想さるゝも、實質上は大なる變化無き様にも考へらるゝを以て、今迄通り賣出すが妥當なるべしとの意見により、3、4月積を賣出すことゝはしたが買手の希望の如き大幅値下げを此際敢行するは四圍の狀態上妥當を缺く様考察せらるゝを以て今回は動搖を防ぐことゝ形勢を觀望する意味より値段を据置きの次記として賣出すこととした。

記 A 108 圓(据置) B 100 圓(〃) C 95 圓(〃)

2、3月積線材共販賣出理事會一据置

月日場所 1月17日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵及5社

議事 2、3月積線材賣出に關する件

外注の Cif 前月と變らず、爲替の軟化だけ値上りと云ふ状態にて内地市場も前月の値下げにより灰汁抜けとなつて舊臘以來小戻しとなり 116 圓より 20 圓見當を彷徨し、製品も賣行は振はざるも原料手持薄と氣分の轉換により上伸氣勢を示し釘にて 8 圓 7、80 錢より 9 圓 2、30 錢、針金も 7 圓弱みと採算よりすれば共販値段を若干にても上廻る状態にあり、先月の値下げが底入れを豫期した事より見れば僅少にても値上げするも已むを得ずと考へ居る處、昨日の米國の平價切下げの流布さるゝに及びて急に弱腰となり、今月は趨勢を窮むる爲めと、工場のを培養する意味より是非据置きに願ひたし。

又數量に就ては 6,000 吨程度は今日の市場にては寧ろ不足にて此儘此状態を繼續する時は値段を無視したる外注誘發の虞れもあるを以て成るべく多く賣出されたしと云ふ買手希望があつた。

之に對し理事會の意見は、共販は値上げの理由は充分にあるも、將來に於て又無理を願ふこともあるべきを以て今回は買手希望を容るべしと云ふことにて内地輸出共据置きの次記に決定した。

記 内地向 112 圓(据置) 輸出向 98 圓(〃)

數量に就ても買手側の希望にも充分の理由もあり工場關係も追々回復の状態なるを以て 1,000 吨増加の 7,000 吨の次記を賣出すことに決定した。

内地	製鐵	神戸	計
1,850	3,150	5,000	
輸出	650	1,350	2,000
	2,500	4,500	7,000

猶今回も特に締切を行はず、共販にて適宜割當つることとした。

Continental Make

C.I.F. & Exch. 1/2-1/4 Int: 1.3% Charge Per 1,000 kg. Duty
6-0-0 ¥ 101'05 + 1'31 + 0'90 = ¥ 103'26 ¥ 101'63 + 21'67 = 123'30

3、4月積厚板共販賣出理事會一据置

月日場所 1月18日 製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵及4社

議事 3、4月積厚板賣出に關する件

1、日本製鐵と共販 製鐵所と云ふ名稱を以て會員とする厚板共販理事會も今回を以て最終となるが、共販の將來に就ては現在迄の處にては實質的には何等變化あるが如き事は豫期せられざるを以て現在迄の通りにて繼續するものとして考へられたしと云ふことであつた。

2、買手希望 外注値段は微弱ながら上伸傾向なるは事實なるも、内地市場は益々賣行不振を續け大體切板にて125、7圓を往來し、受注状態不良なるを以て之れより判断すれば寧ろ値下げを希望したきも手持關係により之れもならず、結局値段は外注の高値は今回は無視されて是非据置きとせられたし。又數量に就ては前述の理由より賣止が最善の策と考ふる程なるも若し之れが不能なれば數量の制限をされ、其數量は不足を告げ居る滿洲等の實需方面に廻さるれば一舉兩得と考ふる故可然取計はれたし。

3、理事會 之に對し賣手の意見は買手は前月も賣止めを希望されたるに不拘、申込數量は1萬噸を越ゆる状態なるより判断すれば市場は買氣が潜在する様にも思はるゝが其真意は前回の申込の際に記述したる様の理由もあれば單に此數量のみよりは判断し得ざるは事實である。

又一方市場が力弱いと云ふ状態は肯定し得るも、シャープにても手持數量が偏在して實際數量の欲しき事實も認めらる。

此際共販が採るべき態度は賣止めか、減量か、平常通り賣出すかの三者で判断の爲し様によつて如何様にも理由付けらるゝが、結局今迄の賣出數量が決して多量なるものにもあらず、アウトサイダの進出等を考慮し、又數量的に市場を平靜に推移せしむる爲め平常通り賣出すが可なるべく、今後は市場の推移を見て善處すべしと云ふ事に一致した。

他方此1級品に影響を及ぼすべき2級品に就ても追て研究すべしと云ふことであつた。値段は買手希望通り据置きと決定した。

耳付 110圓(据置) 定尺 118圓(ク)

4、締切 1月23日

C.I.F. E.x. @ 1/2-3/8 Duty Charges

£6-14-0 ¥ 113'34 + 25'06 + 2'50 = ¥ 140'90 longton. ¥ 138'68 kg ton

1、2月積及2、3月積中板の申込と引受

常春の國中板の申込は近來は大なる變化もなく其時の軟硬、強弱に従つて若干の浮沈を辿るのみで減多に賣出數量に満たぬ様な事はせぬ。

即ち1、2月積に6,000噸臺が2、3月積に5,000噸臺變つただけで、大勢には變りは見られぬ。

1、2月積中板の申込及引受高

區別	東京	大阪	名古屋	其他	計
先					
1.6mm	1,025	365	130	10	1,530
2.3	750	235	50	26	1,061
3.2	1,630	785	165	116	2,696
4.5	965	300	85	28	1,378
計	4,370	1,685	430	180	6,665
引受高					
1.6	320	365	75	10	770
2.3	195	235	20	26	476
3.2	530	785	95	116	1,526
4.5	385	300	55	28	768
計	1,430	1,685	245	180	3,540

2、3月積中板の申込及引受高

區別	東京	大阪	名古屋	其他	計
先					
1.6mm	715	305	90	10	1,120
2.3	580	195	55	13	843
3.2	1,300	675	155	73	2,208
4.5	695	320	80	39	1,134
計	3,290	1,495	380	140	5,305
引受高					
1.6mm	230	305	50	10	595
2.3	180	195	30	13	418
3.2	380	675	55	78	1,188
4.5	220	320	45	39	624
計	1,010	1,495	180	140	2,825

引受に就ても限定された工場能力であるから無限の引受は出來ぬ

1、2月積が増加したのは已むを得ぬ實需が加つた爲め斯の結果となつたので市場向數量は大體同様である。2、3月積の特異な點は、先月迄1.6×3×6がアウトサイダの懸念から注文絶無であつたものが、此處へ來て手當薄の反映によつて反撥した爲め急に姿を現した事である。

昭和8年中三港輸入概況(附12月中の三港輸入)

1、關稅の増率、爲替の低落、外注コストの昂騰等抜き差しならぬ重壓に依つて7年下期に内容、外觀共に外注驅逐の成就を思はせた三港輸入は8年1月に至つて俄然7年12月の2倍1萬1,000噸となつた。

此の1月の1萬1,000噸に依つて年を迎へ7月の4萬2,000噸まで激増、8月より減退、12月の9,000噸を最少の數量として越年と云ふのが8年輸入界の足取りである。

輸入に火をつけたのは7年8月下旬來の内地市況の狂奔であり火に油を注いだのも、買へば騰り賣れば儲つた當時來の好況である。然しながら8年に入つてからの市況は芳しくないで本來ならば45月には輸入も退却するのが通常であるのに尙6、7月の頃までも激増を續けたのは、輸入に抑れた情勢、積遅れ品の到來、保稅物の稅濟等にも依るであらうが潜形的の軍需と少いとは言はれながらも滿洲方面からの買付インフレーションに依る需要が有つたのと近來涵養された市場の實力とが相俟つて先行を無下に悲觀せず何物かを期待して輸入に走らしめたと見られてゐる。8月以降減退に轉じたのは要するに行き過ぎの當然の結果で來る可き反動が來、還へるべき處に還へつたので如何に環境を買つても定められたる程度を越へる事は出來ず、いつもの事ながら一倍正確に應酬する外注に對する自然の攝理に他ならずと云はれてゐる。

統制經濟、プロック經濟が叫ばれ世を擧げて非常時に對處してゐる際斯の如き大起伏を畫いたと云ふ事は殘念ながら鐵鋼界の弱點をさらけ出したのではあるが、其の反面に於て内地生産が昨年より3割増加して250萬噸と推算されてゐるのに尙輸入が昨年より倍して而も相當に消化されたのは、鐵鋼界の事情が從來と異つてをるのを物語ると同時に其の背景を成す世相と、經濟事情と、内地の供給状態

とを考慮に入れて之を眺めれば激増も思惑も或る程度まで許さるべき非常時 8 年ではなかつたのであらうか。

誠に昭和 8 年の三港輸入は波瀾を盡し浮氣者の正體を遺憾なきまでに示すと同時に如何にも非常時輸入の感を抱かしむるものがあつた。

2) 8 年の輸入を縦断したものは非常時に起因する諸相であるが、之れを平面的に觀れば總體的の激増と思惑の旺盛と大阪の躍進を特徴として數へる事が出来る。

以上三態を數字の上から眺めて昭和 8 年三港輸入の概況に代へる事とする。

(1) 7 年合計を 100 とすれば 8 年合計の指數は 203 であるが 8 年 7 月は前年同月の約 7 倍であり 8 年 1 月より 7 月に至る迄は別表の通り月を追ふて激増し而も増加した品種に關しては年計比較の 2 倍を以てしては律する事の出来ない増率で、且つ輸入數量表中の 3 種即ち軌條シートパイリング鋼板 0.7mm 以下を除いては全部昨年より増加してゐるので 8 年中の輸入は激増の 2 字を以て斷ずる事が出来るのではあるまいか、8 年中の三港輸入が如何に燃へ上り如何なる起伏を畫いたか、次表の通りである。

(1) 7 年 12 月を 100 とした 8 年中月別輸入數量指數表

月別	7年12月	8年1月	2月	3月	4月	5月	
指數	100	178	187	281	441	587	
月別	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指數	679	699	407	267	208	201	142

(2) 7 年の輸入界が市場向品の消滅、特殊品の進出であつたのに對して 8 年は特殊品も減少したのではないが市場向品、思惑品が驚異的の激増を示してゐる。其の尤なる物は等山、鋼板 0.7mm 超で昨年に比して等山は 30 倍強、鋼板 0.7mm 超は 11 倍強で而も増加した丈けが市場向の物と見てよい状態である。次で數量の多い物で且つ思惑と増加率の多かつたのは丸鋼で前年の約 5 倍である。此の 3 品種の 7 年合計は 14,300 吨、8 年合計は 129,600 吨なので 8 年は 7 年より 115,300 吨の増加である之れを鋼材全部の 7 年總計に對する 8 年總計の増加數 137,300 吨に對比すれば將に 84% に當り如何に思惑が旺盛であつて而も此 3 種が猛威を振つたか思ひ半に過ぎるものがある。

此 3 種の他で數量は少いが増加率の多かつたのは不等山、溝形、角鋼、平鋼で之等の増加も殆ど大部分は市場向品が占めてゐる「其の他」も約 2 倍に増加してゐる。「其の他」の増加は 7 年來の傾向で 8 年に至つて非常時を一層強く反映したのが激増の原因の主たるものであるが鋼板其の他特殊品物に市場向品が相當輸入されたのも 8 年の特色として數へらるべきであらう。

上記品種の他は鋼板 0.7mm 以下の激減を除いては増加率が僅少であるか若しくは減少してゐる。鉄力と云ひ線材と云ふも此の程度の輸入は當然で他の物と共に 1 種の特種品と見る事が出来るので 8 年の輸入は之れを思惑品の跳梁と斷じてよいのではあるまいか。

次表 8 年と 7 年の輸入數量の比較を参照せられ度い。

(2) 7、8 年品種別輸入數量比較表

品名	8 年	7 年	増減	比(倍)
等鋼板	24,018	792	+ 23,226	30.3
0.7mm 超	75,531	6,785	+ 68,746	11.1
鋼丸	30,068	6,722	+ 23,346	4.5
溝形	3,898	555	+ 3,343	7.0
角鋼	2,990	565	+ 2,425	5.3
平鋼	3,836	1,275	+ 2,561	3.0
計	13,253	4,975	+ 8,278	2.7
計	153,594	21,669	+ 131,925	7.1

其工線鋼鉄軌	15,259	8,470	+ 6,789	1.8
シートパイリング	969	607	+ 362	1.6
鋼板 0.7mm 以下	24,571	19,122	+ 5,449	1.3
計	7,029	7,212	+ 1,817	1.3
他形材管	59,770	53,802	+ 5,963	1.1
力條	3,366	3,819	+ 483	0.9
條	2,884	9,528	- 7,144	0.3
計	2,492	10,739	- 8,247	0.2
計	115,840	111,329	+ 4,511	1.0
合計	269,434	132,998	+ 136,436	2.0

備考 (+)は 8 年に増加した物、(-)は 8 年に減少した物 (比)は 7 年に對する 8 年の倍數を示す。

(3) 從來は横濱と神戸が略似通つた數量を輸入し大阪は此の兩港より遙に僅少であるのが常態であつたが、昨下期頃から大阪が神戸を凌駕する時が有るやうになつた。是れは總體的に輸入が減少し而も必需品、若しくは特殊品の輸入に止まる事となつたので自然的に三港の輸入が接近したまで、其處に他の積極的な力が働きかけての結果ではないが 8 年には折柄の輸入時代に遭遇した上に大阪の、築港の完成と、市場の廣い事と、商賣に抜け目の無い大阪業者の本質とが重つて次表に見る通り港別の輸入状態に大革新を來したと見られてゐる。

毎月の概況で報じた事であるが 8 年 7、8 月迄の大阪港の鋼板 0.7mm 超、等山、丸鋼の増加は素晴らしいもので而も其の他の各種も共に市場向の物が大部分なので 8 年中の輸入は前述の如く 7 年に對しての激増と思惑品の跳梁が特徴でもあつたが、それと同時に大阪港の躍進も亦一異彩たるを失はずと云へるのではあるまいか。

尙ほ之れに附隨して起つた現象は大阪港が市場向品を其の内容として激増したのに對して神戸港は此の輸入激増、思惑旺盛の時にも拘らず過去數年來の最少數量で而も大部分が特殊な物となり、全く大阪港と數量に於て處を代へたのみならず、自ら大阪は市場向品を神戸は特殊物を分擔して輸入するに至つた事である。之れも亦 8 年輸入の新風景であつた。

昭和 4 年以降鋼材港別輸入高

	神戸	大阪	横濱	合計
4 年	253,544 (40.43)	115,013 (18.34)	258,526 (41.23)	627,083 (100%)
5 年	141,726 (44.53)	51,930 (16.32)	124,611 (39.15)	318,267 (100%)
6 年	75,394 (42.77)	38,169 (21.66)	62,708 (35.57)	176,271 (100%)
7 年	46,118 (34.67)	27,928 (21.00)	58,952 (44.33)	132,998 (100%)
8 年	38,087 (14.14)	141,609 (52.56)	89,733 (33.30)	269,429 (100%)

備考 括弧内は各年の合計を 100 とした港別比率

昭和 4 年を基準とした鋼材港別比率

	神戸	大阪	横濱	合計
5 年	55.90%	45.15%	48.20%	50.75%
6 年	29.74%	33.19%	24.26%	28.11%
7 年	18.19%	24.28%	22.80%	21.21%
8 年	15.02%	123.12%	34.71%	42.97%

12 月中の三港輸入概況 - 激減

1、流石猛威を振るつた輸入も愈々今月は年初以來始めての 1 萬吨以下、而も前年下期の極減數量に近い 8,800 吨となつた。

其の内容も等山に極く少量と鋼板 0.7mm 超に約 1,200 吨の市場向品と思はれる物が輸入された他は思惑消え去つて特殊物が主となり、同時にスクラップの 2,000 吨に依つて多くなつてゐる鋼板 0.7mm 超の例外を除けば、再び鉄力が頭角を現して來て輸入の面目全く 1 年以前と變らない事となつた。

今日から考へれば6、7月の4萬噸、5萬噸は狂氣の沙汰であるが、果して従來の如く良く云へば自由競争、悪く云へば放縱が許されるであらうか。

日本の製鋼界も異常に發展して特別なる物を除いては自給自足に大して不足はないので供給力から見れば龐大なる輸入の必要は無いのであるが従來の經濟理論に立脚する限り此の點から出發しては輸入に軌道あらしめる事は不可能であるが若し其處に道を求めるとすれば鐵鋼の國家的重要性と1935、6年の國際的重大性と世界經濟界のブロック化とに對する全き認識と自覺に依つてのみ得られるのではあるまいか。

今こそ慎重に考へるべき時であると同時に三港輸入自身も亦一步を過れば國賊、裏切者の立場に似た汚名を甘受せねばならない非常時に直面してゐると知る可きではあるまいか。

2、本月の輸入状況を品種別に眺める事とする。

丸鋼は先月より570噸減少して320噸と云ふ丸鋼としてはミニマムとも見られる激減振である。就中大阪の如き神戸よりも僅少の70噸而も内容は造船材料、特殊物それに是れ復一種の特殊向であるところの9 $\frac{1}{2}$ 、10 $\frac{1}{2}$ 、11 $\frac{1}{2}$ を少々入れたに過ぎない有様で7月に9,000噸を入れた當時の有頂天はゲロリとしていともエゲツない且那振りを發揮してゐる。神戸、横濱は全部特殊品質の精々2、3噸と纏つた數量を頭に極く少量宛が輸入されたのみである。角、平は需要の少いものなので大阪は木で鼻を拭いたやうにケツトバして片影をだに止めしめず神戸、横濱は丸鋼と同じく非常時の特殊需要と思はれる特殊物少量宛と云ふ状態となつた。

等山も此處へ來ては昔日の面目更に無く神戸には皆無、大阪も大型物20噸と解體船材のみとなつたが流石に浮動性の多い物丈けに保税物か税済された物かは不明であるが少量ながら横濱の50噸は6 \times 50と6 \times 65の2寸法である。不等山も大阪の全部21噸が12 \times 100 \times 150である他は神戸が造船材料及スクラップを30噸輸入したばかりなので等邊不等邊共に山形は極減の域であらうが待つた無し輸入の事ではあり需給の統制にも難色があるので此數字が何日まで續くかは疑問である。大桁違ひを目の當り見せつけた代物丈けに此の静けさにも凄味ありと見る向もある。

工形は1噸の輸入も無く溝形も全部解體船材とスクラップである斯くて今月の條鋼合計800噸は前月の1,800噸に比すれば半減以下となり其の内容も殆ど特殊向なので全く大風一過昨日迄の暴狀はうたかたの夢のやうに消え去つてゐる。毎度ながら顧みてルンペンなる哉輸入の歎無きを得ない。

鋼板0.7mm超は前月より約800噸増加してゐる。神戸の全部は特殊物、大阪2,500噸の中、2,000噸は解體船材であるが残り500噸の中300噸は中板200噸は厚板であり、横濱800噸は中板600噸厚板100噸番物100噸と云ふ状態で本月となつても勇敢に只1人思惑の名残を留めてゐる。一應は強氣筋の其の後の手當に依る輸入と言はねばなるまいが嚙に依れば滿洲に相當の荷が動いてゐると云はれてゐるし内地市況も無下に非觀されてゐるのではないので、或は保税からの流入で未だに滿洲と内地を天秤に掛けて寄らば切ると身構へてゐる物騒な物が有るのではあるまいかとも見られてゐる。兎に角根強い存在である。

鋼板0.7mm以下は全減、累計に於ても $\frac{1}{4}$ 以下となつて異例を作ると同時に動きの取れなかつた本年黑板界の四圍の情勢を雄辯に物語つてゐる。

鉄力は最近の三港輸入に於ては特殊取扱をして來たがそれは不變の内容外觀を示すが故に手のつけられない萬止むを得ざる物として要するに別格に敬遠したまで、累計の示す如く6萬噸と云ふ數量は餘命幾何もなき運命にありと云へ現在では依然として輸入界の大きな存在である。

此の鉄力も今日は珍らしく激減して2,000噸となつたが之は累計が示す如く1ヶ年を通じて大量を輸入した事とて其の反動來で周期的に繰返へされる波動の底部に當つたものと見られてゐる。線材の約200噸は過去數年來の最少數量である。内地の生産力を考慮する時は線材も愈々來る可き處に來たには相違無いが此の數量を以て律する事は早計で保税と供托を勘定外にして線材を見る事は危険である。

軌條、シートパイリング、鋼管は舊態依然、實需の範囲内で一高一低を畫いてゐるので取り立て、云ふ事も無い。「その他」1,000噸の中500噸はスペシャル・スチールで之れ復現在の日本としては需給兩面より當然の輸入である。残り500噸は縞鋼板であるが當所の賣出しが途切れてゐるので軍需其の他の需要から考へて之れ又豫て覺悟の數量と云はれ縞板其の物刻下の運命には影響無く之れは製作方面と關連して云々せらるべき問題と云はれてゐる。

東西市況一底堅し

ザリ貧、不勢の年末市況を、除夜の鐘諸共貧乏神を西の海へさらりと云つた具合に片附けられる筋合ではないし、時期が時期であり取り立て、買ふ可き材料もなかつたので、其の後は氣迷はざるを得ない内外の混沌たる諸事情も加味されて年末年初來の市況持續を傳へられてゐたが昨今では型物、鋼板が滿洲方面へ動き内地にも見積物や小口實需が相當に見受けられるとかで市況は稍持ち直し、丸鋼の軟調を目に入れて弱氣を抱く向の外は氣迷ながら悲觀の聲少しと云はれてゐる。

過去2、3年來誠に多事多端の年を送り迎へたが今年は又例年とは異つて小股すくひの利かない、懷を空け廣げた無氣味な相手とガツチリ四つに組む事となつた。其の招來する結果は兎も角として現存の事實として、曰く製鐵合同後の成行、曰く滿洲國の發展程度曰く龐大なる豫算の行衛、曰く35、6年の形勢と云ふ其の結果如何に依つて鐵鋼界の運命が左右される大問題が解決を將來に残しつゝ立ち塞つてゐるので今後は其の日其の日の晴雨にもびくつき、目先觀に依つてのみ動く草角力の時ではなく用意周到而も堂々の陣を張らねばならない大關角力の時と云ふ見方が多いやうである。幸に鐵鋼界に取つては大體に於て好影響を招來すると見られてゐる事情が多いので市況は氣迷ながらも崩れず流石に是れ等の材料が感應されてゐるのは今後の市況を暗示するかに見えるが本年は鐵鋼界も亦非常時なので充分の善處を要するのではあるまいか。

終りに臨み本年の最初であり同時に多分同じ名稱の旬報に於ては最終となるであらう處の本號を籍りて市況の好轉と多幸を祈り併せて永らく本欄の爲め惜みなき御助力の勞を興へられた各位に謝意を表させて戴く事とする。

東京市況

丸鋼 細丸は大阪の伸鐵が大幅値下げを發表したが同時に減産をする事となつたので下げ止り、9.1mmは商談談きも入荷多からざる爲め保合、ベース物は日鐵合同に依る共販の崩壊を従つて安物が出廻るであらうとの懸念は解消したが荷動芳しからず、手持も相當にある處から弱含み保合の域を低迷してゐると云はれてゐる。中丸

は外注品未だに消化し盡されずと見られてゐる上にベース物の不勢に押されて小甘く、依然として仕入値段を下廻つてをり、太丸は12圓50錢前後を持続、商況不變と云はれてゐる。

角、平鋼 角、細物は伸鐵の遊出に依つて軟調、總じて角鋼は19mm、38mmの如く丸鋼に比すれば高値唱へに止つてゐるものや44mm以上の如く幾分品薄の爲め12圓見當の強調を傳へられてゐるものもあるが、元來取引僅少な物丈けに平と共に自體としての動きは少く例に依つて丸鋼の向背を映した漫歩の態と見られてゐる平も當所分野に伸鐵品の進出あつて氣配不良。

型鋼 小山形は伸鐵の影響があるので3×20 11圓、其の他の3mm厚は11圓20錢5mm厚は9圓乃至10圓前後と益槍ながら4×45は市中在庫少く12圓50錢と上放れてゐる。

中山は滿洲、内地に需要あり旁々官廳用品積出に依るメーカーの供給薄が響いて概して手堅く保合つてゐるが中に6×50の如く鋼管よりの入荷無き爲め2.30錢方上向いた物や10×90、13×90の如く11圓の高値を唱へられてゐる物もある。大型等山も滿洲向、内地用共に荷動きある爲め値段は11圓50錢とガツチリと唱へられ9×130は一時11圓80錢まで買はれたと云はれてゐる。不等邊中形鋼管サイズは品拂底の爲め戻りと云はれ大型は滿洲向、建築用に需要あつて氣配強調を傳へられてゐる。溝形、工形も内地、滿洲共に實需向の商談ある處から強合み保合と見られてゐる。

總じて型物は思惑漸く影を潛めた處へ入用買現れて低迷を脱し堅實なる商狀を呈してゐる。

鋼板 人為策と實需とが相俟つて先物値段を下廻る物は無く茲許鋼板は好調を傳へられてゐる。

16×3×6は一頃徳山、千住鐵板の製品が現れて悪化した事もあるが過般來の手當薄が品薄を來して硬化を誘ひ年初の14圓50錢から50錢方引締り4×8との値開きも20錢方に縮少された。

16×4×8は入用もあり値段としても尙ほ多少の上げ餘地はあるが思惑の時節に非ざるを以て穩健を辿り5×10は罔かあらぬか18圓と云ふ突飛な値段を唱へられてゐる。2.3は1.6に引摺られて値を保つ程度に止り唱値は3×6、4×8の15圓5×10の16圓50錢と云ふ見當である。中板の中で最も注目されてゐた3.2は引續き滿洲から相當の注文がある上に軍需關係の見積もあるとかで高値保持の儘強調。

4.5mmと6mmも荷動がボツボツ有るので氣配悪しからず4.5の3×6、4×8は13圓見當の保合ながら5×10は品薄に13圓50錢と引締り6mmも戻りを傳へられてゐる。8mm以上は頭痛の種であつた大鐵、中山の進出も何うやら正體は枯尾花と見極められたが一頃12圓20錢まで行つた大阪の相場が聞へて伸惱み茲許下げ止りの程度と見られてゐる。

大阪市況

丸鋼 甲戌の春光朗らかに、財界は快きスタートを切る。財界人の本年景氣觀は、大なり小なり「世界一の日本景氣」を讃へて春風踏蕩、この樂觀氣分横溢の裡に蓋を開けた我鐵鋼市場は案外平凡で却つて先行警戒の向きもある。兎に角外は米國の平價切下げ氣配内は日本製鐵株式會社の設立、伸鐵の平爐新設氣構へ等々次から次へと何が起るか判らぬ世の中でお釋迦様でも一月先きの見當さへつきかねる昨今ではあるがエコノミツクナシヨナリズムの激化、プロツキイズムの擴充が今年あたりそろそろ影響を現はして來る位の覺悟はしてかゝらねばなるまい。6mm及び8mmは伸鐵組合も相當徹

底した統制振りを示してゐるので相場は9圓1、20錢ガツチリを唱へられてゐる。9mmは過般當所の値下げ發表に連れ伸鐵も値下げしたため大中相場は安値乍ら手堅く保合つてゐる。12mmは民間メーカーの生産制限、伸鐵品の手當等のため市中在庫は漸減の態といはれ氣配は小戻りと云はれてゐる。ベース物は實需は弗々あるが一般間屋筋では日本製鐵設立後の各メーカーの生産販賣政策につき勘からざる關心を持ち日和見的態度を持してゐる處から相場は伸力に乏しい。中丸は投物一巡したため相場は上向歩調に轉じた様子で就中75mm以上のものは極端なる品掠れにて目立つて高いようである太丸は凡調裡に推移。

双六や片ごころがりの餅の糺

角、平鋼 角鋼小形ものは伸鐵品に押されて不冴。其他のものは當所定期によつて制限されてゐるので氣配は小戻りと云はれてゐる。就中50、65、75、90mm等は市中品拂底にて13圓搦みを唱へられてゐる。平鋼小形ものは殆んど安値伸鐵品で間に合せてゐるやうである従つて相場は9圓20錢見當である。中形ものは過般品拂底を傳へられてゐるが昨今では伸鐵品の出廻り順調のため軟調に轉じた模様である。

型鋼 小形アングルは當所ものは品質良好なる爲め相當高値を唱へてゐるが伸鐵品は材料關係で當所品との値軸は随5圓搦みと云はれてゐる。中形アングル $\frac{3}{4} \times 2$ は賣行良好にて市中在庫薄といはれ10圓50錢と目立つて高い。其他のものは荷動き拵々しからざる處へアウトサイダーよりの荷廻り順調なるため相場は頭重い目先も何等手がかりになる材料は不見當。反之不等邊中形アングルは市中品不足にて堅調を傳へられてゐる。大形アングルは本年になつて建築方面より大量の注文あり且つ大連よりも相當の引合あるため目下市場は活況を呈してゐる。15×150等は引張風の有様にて相場も12圓と光つてゐる。チャンネル並にジョイストは纏つた商内は出來ぬが安値漁りに吸々たる有様と云はれてゐる。

鋼板 1、2中板は最近外注品も弗々入荷あるも順次消化されてゐるやうである。軍需品として相當消化されたとのことで昨今では相場は上向歩調に轉じた様子である然しアウトサイダーの増産計畫等を眺めて間屋筋では積極的に買進まぬやうである厚板はアウトサイダーよりの荷廻り順調なるため市中在庫漸増の態にて全く浮ぶ瀬がないと云はれてゐる。

線材 昨今ではまだ正月氣分で地方からの注文もなく且つ製品は内地及輸出共に不振と云はれ従つて相場は先旬急反落を演じた模様である。

鉄力板 バンドラの箱が開かれる。平價切下と金の政府統制との問題が愈々眞劍味を帯びて來たらしく太平洋の彼方からしきりに傳はつて來る。さらでだに敏感な鉄力板界も昨今では氣迷ひ商狀を呈し以然局面打開は困難とされてゐる。

12月中の日誌

- 1日 本日入電の外注値段次の通り
Bar Base 5-3-0、Angle Base. 5-3-0、Plate Base 6-10-3
- 2日 本日の豫算閣議に於て海軍に1,500萬圓の復活を容認し農林省の要求は内政會議で考慮する事となり豫算案遂に纏る。
○明年豫算總額21億1,000萬圓、内4割4分8厘は軍事費。
○明年1月積より重軌條の長さは全部米突化に決定。

- 5 日 日銀調査 11 月中の卸賣物價は前月に比し 9 厘方の低落
洋鐵指數は 117 前月は 118 (明治 33 年 10 月基準)
- 7 日 11 月中の三港輸入は前月より 400 吨減少して 1 萬 2,500
吨となる。累計は前年の約 2 倍 26 萬吨。
- 8 日 アイアン、エーザ誌に依れば最近 1 週間の米國鋼鐵生産
率は 27.5% 先週は 28%
○東西市況は丸鋼を除き概して落ちつき模様、丸鋼は前旬
より 1、20 錢安。
- 9 日 昭和鋼管は熔鑄爐建設を中止し八幡及び川崎より原料
の供給を受くる事に決定せりと。
○伊太利議會は組合組織制定に關する法律を採擇す。
- 11 日 米國の金買上値段は月初以來釘付の 34 弗 1 仙。
○昭和製鋼は運費の低下を圖る爲め鞍山、營口間に運河を
開く計畫を樹て實地測量に着手せりと。
- 12 日 本日電の外注値段次の通り
Bar Base 5-2-0、Angle Base 5-2-0、Plate Base 6-9-9
- 14 日 邦品の輸出に對する世界的の壓迫に對抗する爲め、大藏
外務、商工三省は通商防衛策を慎重に考慮す。
○日本製鐵從業員の扶助特例樞府審査委員に於て承認さる
- 15 日 日蘭綿業豫備會商ヘーグに於て開かる。
- 16 日 日蘭綿業豫備會商終了。
- 18 日 鋼材聯合會の 12、1、2 月積生産割當數量は 1 割減の各
月 2 萬吨。
○東西市況は不勢ながら突飛の安値も無し。
○米國の金買上値段は 5 仙上げの 34 弗 6 仙。
- 19 日 日本丸鋼共販組合にては建値發表を 1 月中旬まで延期し
それまで賣出中止。
○本日電の外注値段は 12 日入電と變らず。
- 20 日 常盤會の 1 月積黒銀賣出方法は 12、13 枚物賣止め、他
は 6 圓乃至 10 圓下げ、申込締切 21 日、數量 22 日發表
- 21 日 官民條鋼分野協定會は 9 年 1 月より 3 月迄繼續し其の
間情勢に變化あれば改めて協定に決す。
- 22 日 9 年 7 月 1 日より實施の管なりシメートル法は本日の
閣議に於て 5 ケ年間延長に決す。
○鋼材市場は取引閑散にて低落步調。
○内政會議は、農林省豫算問題は農林兩省の直接交
渉に決し農村對策問題は 5 項目を承認して一先づ閉幕。
- 23 日 午前 6 時 39 分 皇太子殿下 御誕生遊ばさる。
○第 65 議會召集さる。
- 24 日 支那中央軍飛行隊福州を大爆撃し、中央軍の進撃本腰と
なる。
○支那の中、獨合辦製鐵所設立に關する 南京政府實業部と
獨逸のゲーテホフマング、ヒメツテ會社との協定草案完
成せりと。
因に同製鐵所の工場敷地は安徽省馬鞍山に決定したる由
○米國の昭和 8 年中屑鐵輸出數量は 60 萬吨と推定され内
7 割は日本向なりと。
- 27 日 本日電外注値段は前回入電と變らず。
- 28 日 東西市況は概して底入れ小戻りの儘越年と見らる。
- 29 日 皇太子殿下は親王御名を明仁と命ぜられ繼宮と稱せらる
○富士製鋼、九州製鋼、釜石鐵山、三菱製鐵、東洋製鐵、

輪西製鐵との假契約成立製鐵合同工作著しく進捗す。

12 月中爲替相場

區分 月/日	對米	對英	區分 月/日	對米	對英
12. 1	30- $\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}$ -0	16	30- $\frac{1}{8}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{8}$
2	"	"	18	30- $\frac{1}{4}$	"
4	"	"	19	30- $\frac{1}{2}$	"
5	30- $\frac{1}{8}$	"	20	"	"
6	30- $\frac{3}{8}$	"	21	30- $\frac{1}{4}$	"
7	"	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{8}$	22	"	"
8	"	"	23	"	"
9	"	"	26	"	"
11	"	"	27	30- $\frac{1}{2}$	"
12	30-0	"	28	30- $\frac{1}{4}$	"
13	29- $\frac{3}{4}$	"	30	30- $\frac{1}{8}$	"
14	"	"			
15	30- $\frac{1}{8}$	"			

販賣旬報 第 1 號 昭和 9 年 2 月 7 日

日本製鐵株式會社

日本製鐵株式會社の創立

昭和 9 年 1 月 29 日東京の日本工業俱樂部に於て日本製鐵株式會社の創立總會が開かれ、茲に初めて日本製鐵株式會社の成立を告げ 2 月 1 日より其事業を開始することとなつた。

其成立迄の經過及本社の使命に就ては次に掲げた中島商工大臣閣下の談話と第 1 回重役會議後に於ける中井社長の聲明に明らかで、これにより本社の責任は愈々重大性を加へたのである。

日本製鐵株式會社に關する商工大臣の談話

本日日本製鐵株式會社は創立總會を終了して愈其の成立を見るに至つたのであるが先づ本會社設立の經過を簡単に述べれば前議會に於て日本製鐵株式會社法が通過して以來評價原則の研究、評價資料の蒐集、會社組織の構成に關する調査等鋭意其の準備を進めつゝありたるが 9 月末設立委員及製鐵事業評價審査委員の任命ありてより正式に其の設立手續を進むるに至つたのである。兩委員會に於ては夫々特別委員會を設け爾來 4 ケ月の久しきに亘り各 10 數回の會合を重ね熱心且慎重に評價原則及會社の根本組織等に付審議をなすと共に參加決定各社との交渉を進め漸く會社成立の運に至りたるを以て去る 1 月 26 日設立委員會は會社定款を決定し其の認可を商工大臣に申請し製鐵事業評價審査委員會に於ても其の現物出資財産の評価に付滿場一致を以て承認し、かくて本日の創立總會に至つたのである。

本會社は曩に日本製鐵株式會社法を議會に提案するに當り、廣く聲明したる通り官民の製鐵事業を合同し強力なる一大組織を造り以て本邦製鐵事業の基礎の確立を圖るにありたるを以て、之が設立に當り出資財産の評価に付ては特に慎重を期し官民の有識者より成る製鐵事業評價審査委員會に於て嚴正なる調査をなしたる次第であるその評價方法に就ては稼高式評價方法及複成式評價方法を併用したることは周知のことであるが、兩者の組合せに就ては稼高式評價法に依る評價額を一複成式評價法に依る評價額を一とし之を二分する方法をとつたのである、之は前議會に於て説明したるもの則ち前者を二、後者を一として三分する方法とは幾分異なるのであるが鐵鋼市場の變動性多きに鑑み稼高式評價に重を置くことは寧ろ妥當を缺く惧があるので上述の通り改めることにしたのである。

而してかく組合せて得たるものを會社經營の堅實と云ふ見地より前議會當時に説明せられたる同等固定設備費 61 圓に近接せしむる様之を壓縮したのであるから、資本評價の過大と云ふが如きことは絶対にないと信ずる。

次に會社經營の根本たる重役の組織に付ては取締役會長を首班とする議決機關と社長以下の執行機關とを併置する所謂二重組織の制度を採つたのであるが之は各機關が互に相依り相制して以て事業の完全なる統制と圓滿なる遂行とを期した譯である。

以上述べたる如く會社の財政的基礎及根本組織に付ては充分考慮を盡したのであるから、新會社の基礎は極めて鞏固で今後事業の管理經營に徹底的なる合理化を行ひ、生産費の低減を圖り低廉且豊富なる鐵鋼の供給を爲して消費者の利益の増進を圖ると共に他方に於ては設備の改良擴張を促進して今後益々増大すべき需要に對し充分なる供給を期し更に進んでは外國への輸出をも爲し得るに至ることゝ信ずるのである。

斯くて本邦製鐵事業の基礎が初めて確立されるのであるから、政府としても本會社に對し充分なる指導監督を行ひ以て所期の目的を達する様にしたいと思ふのである。

社長の聲明

今回愈々日本製鐵株式會社が創立されまして、官設の八幡製鐵所を始め民間の輪西、釜石、富士、九州、兼二浦の5つの製鐵製鋼の諸工場が打つて一丸となり、一統制の下に活動するようになりました事は、我國に於ける多年の懸案であつた鐵鋼の輸入國より自給自足への一階梯として更に輸出國として飛躍の第一歩として誠に慶賀に堪えぬ次第であります。

基礎工業の隨一である製鐵事業が統一される爲めの利益は、多々ありますが其重要なるもの三、四を擧げて見ますならば、1、將來本邦に於ける鐵鋼の需要増加に對應して大局より見て時機を失せず設備の改良、擴張、新設を敏活に執行する事が容易であります、即ち之に要する資金は從來よりも手早く得らるゝ上に無謀なる重複設備も防ぐことが出來ます、2、今迄別々に行はれて居た諸機械類や各種の原料等の購入が1ヶ所に統一されるゝ爲めの利益の上に、各工場間の融通によつて製鐵會社として貯蔵すべき量も、少くて濟む事になりますのみならず、同種類の機械器具の豫備品の如きは大に其數を減じ得るのであります、3、從來各工場で個々に製作されて居つた同種の製品は之を分類統一して各々の設備で夫々單種多産を行ふ様に仕向ける上に從來個々に體得して居つた作業上の經驗は勿論、學術的研究をも共に各工場間に利用融通して技術の向上發展を促進することが出來ます、4、今迄各社夫々が使用する原料、半作品の産地から工場迄、又其製品が工場から市場迄運搬さるゝ爲めには、隨分入遣に行はれて居たものが少くないのであるが、之等は當然近い處へと運ばるべきもので即輸送距離の整理短縮の利益があります此の如く枚舉し來れば所謂合同の利益は少くないのであります、世上説をなすものが合同は價格の吊上げを劃する「カルテル」なりと盲斷するが如きは餘りに其眞意を知らざるものと申すの外ありません。日本製鐵株式會社の使命任務は銳意生産費の低下を行ひ、將來に備ふる設備の改良擴張新設を斷行し、餘裕を以て賣價を引下げ我國鋼材の用途を喚起して需要を増進せしめ、製造者、消費者、共存共榮の途を進まんとするに外ならぬのであります事を申し上げたいのであります。

又今回合同參加各所出資の評價に就いては専門家並に斯界の權威者から成る評價審査委員會の、嚴密公正なる審査を経て決定に至りましたもので、其評價の方法は復成式と稼高式とを組合せ、更に之に多大の査定を加へたのであることは世間周知の事であり、假に之を現在の収益力のみによつて資本額に還元するとしますれば

著しく巨大の額に上るべき事は、合同參加各社の最近の業績を見ましても、極めて明瞭な事實であります、斯る好況が果して何時迄繼續すべきかは誰人も之を洞見し能はざる所であり、本會社の事業が國家必須の重要産業たるの重大性に鑑みまして、基礎の最も鞏固を期する上に於ても、直ちに現下の狀況に即することなく充分の安全率を見込み、需要並に市價變動の狀況をも考へ、將來永續性を有する程度の調査材料に基いて評價額が算出せられたるもので、今日の我國經濟事情に於ては勿論、之を歐米の大製鐵所の實例に比較しましても決して水膨れなどの批評を受くべき數字ではなく本會社の健全性に就ては何等の懸念を要せぬと信ずるものであります、加之壓延設備能力に於ては勿論のこと熔鑄爐の能力に於ても相當の餘裕を存するのでありますから今後需要増加に應じて増産する曉には、適當設備費は尙引下げられ得るものである事を御承知願ひたいのであります。

只吾々の懼るゝ事は、今回の合同設備は米、獨の大合同會社に比ぶれば甚だ小さなものではあります、我國としては未曾有の大製鐵會社でありまして吾々の不敏なる俗に所謂大男總身に智慧が廻はり兼ねる事を一に憂慮致して居るのであります、從業者一同奮勵努力、從來夫々の工場に在りました時より以上に好成績を擧げて、國家の期待に副はん事を冀ふて已まない次第であります。

2月積賣出SS會一据置

月日場所 1月22日 製鐵所東京出張所

出席者 特殊製鋼、三井、河合、近藤及製鐵

議事 1、名稱改稱の件 今迄「普鋼會」なる名稱であつたが、今月よりSS會と會名を改めた。

2、1月積賣止め 前回11、12月積賣出しを行つたから今回は1、2月積となる筈であつたが、1月積を中止して今回は2、3月積の賣出しと爲す豫定であつたが別項の如き事情により2月積のみの賣出しに止め3月積は改めて協議會を開くことゝした。

3、2月積普鋼賣出に關する件

(a) 買手希望 外注値段は別項の通り前同に比し僅少な値下りを示すに留つた。一方内地市況近來各種工場より諸種の製品が進出し來り、然も其値段は相當安値物が彷徨して、當所品は壓迫を感じて居る。即ち尼ヶ崎製品の市中賣140圓見當のものや日本鋼管製品の125圓搦みのもの又は富士製鋼の120圓乃至128圓位などがそれである。賣行の數量としては製鐵所品が減少する程でもないが、追々増加する消費力が少しも製鐵所品に影響して來ぬは要するに他社製品に侵蝕せられて居るのである。勿論品質の良否の點は考慮に入るゝ必要はあるが、競争と云ふ點も一考せられて若干格差の短縮を望むと云ふ買手希望であつた。

賣手の意見は、買手の提案には勿論相當の理由は認めらるゝも、他社製品の安値に就ては其原因等に於て未だ研究すべき餘地のある様にも考へられ、必しも恒久性に富む様にも思はれぬ節もあり、其上格差問題も如何なる點が妥當なるや今直ちに決定し兼ねる點もあるを以て、若し賣手の販賣がさまで困難なれば形勢觀望の意味より今月は兎に角据置きとし其代り2月積、3月積を賣出さず今回は2月積のみを賣出すことにしてはと提案し其の通り決定した。

Hard steel bars C=0.5~0.6%

Jan. 20th 1934.

C.I.F. £ Exch. @ 1/2-5/6 Duty Charges L. T. K. T.

7-14-6 ¥129.54 + 25.06 + 2.50 = 157.10 ¥154.77

三軌會一据置

月日場所 1月24日 製鐵所東京出張所

出席者 三井 三菱及製鐵

議事 重軌條賣出に關する件

製鐵所を中心とする各種の會の中で、此三軌會は大正15年8月の創設と云ふ最も古い歴史を有するもので、輸入員全盛の眞只中に乗り出して重軌條の販路開拓に努めた苦心の當時と、全く其片影だに認めぬ様になつた今日とを比較すると全く隔世の感がある。

前回10月の三軌會と今回とを比すれば、外注に於て若干の上伸は見たるも、此値段もノミナルにて單に趨勢を知るに止まり、内地も一時よりは需要の増加は見らるゝ情態なるも之れとてきしたる影響もなく其他の情勢も別段此値段を動かす程強力なるものも見出せざるを以て前値据置きの次記に決定した。

記 重軌條一般賣値段 150圓(据置)

Sanki-Kwai

Tokio, January 24th, 1934.

Heavy Rails and splice Bars only

I. R. M. A. price

Cif. Japan (Average)	8-11-0	£	143'37
Ex. @ 1/2, 5/16		¥	1'43
Interest 1%			21'71
Import Duty			0'80
Landing charges			23'94

Per ton of 1,016 Kgs.	¥ 167'31
Per ton of 1,000 Kgs.	164'67 Say ¥165'00

3、4月積縞鋼板賣出協議會一圓上げ

月日場所 1月24日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、安宅及製鐵

議事 3、4月積縞鋼板賣出に關する件

1、値段 入電は1志6片高の6-19-6を報じ、内地市場も漸落とは云へ大凡150圓乃至155圓見當を往來し、消費も大口は無きも、弗々の賣行を見る程度にて大體樂觀を續け輸入も若干ありたるも今の處市場に影響を及ぼす程度にもあらざるを以て前月の3圓下げを全部回復すべしの意見も出たるも買手の据置説を参照して1圓上げの次記に決定した。

記 4.5mm 138圓(1圓上げ) 6.0mm 135圓(〃)

2、數量 縞板の近來に於ける需給状態は往年とは全く一變した形である。昭和7年上期迄は輸入の影もなく、製鐵所の僅少の賣出さへも消化し切れざる状態であつたが其後急激なる増加を見、或る時は1ヶ月1,000噸近くの輸入を見ながら猶且300圓など、狂相場を出現する有様となつた。今日に於ても大して崩落を見ざる處より判断すれば何等か特別の消費力もある様にも觀察されるが先行の警戒も意味して今日は市場向としては前月同様250噸とした。

3、締切 1月29日

"Chequeared Plaie" Mar./Apr. Ship' 22/1'34

Cif.	£ 6-19-6
1/2-1/4	¥ 117'47
Duty	25'06
Charges	2'50

¥ 145'03

K. T. 142'78

2、3月積堅板會賣出協議會一据置

月日場所 1月25日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、岩井及製鐵

議事 2、3月積スコップ用鋼板賣出に關する件

1、値段 外注も僅少なる値下りと云ふ程度にて大なる變化もなく、従つて此際値上げする理由の見出せざるは勿論別段値下げの必要もなく結局前月通り据置きと決定した。

2、數量 前月の約束に基き今日は200噸の賣出しとした。

3、外注次の通り

MITSUI BUSSAN KAISHA.

Tokyo, January 24, 1934.

Shovel Sheet

1'85mm x 4' x 8'

Cif.	£ 8-10-5
ex. @ 1/2-1/4	¥ 143'51
charges	
duty	¥ 32'01
interest	1'86
landing	1'10
	34'97

per G. T. ¥ 178'48

per 1,000 Kgs. 175'66

3月積珪素鋼板の引受

珪素鋼板を要する事業界は概して好望視されてをり事實發電機用の注文も増加してゐるので現在に於ける能力として不都合の無き限り需要に應ずる事とし次記の通り前月より約200噸増加の引受を見た。

3月積珪素鋼板申込及引受高

品種 寸法	B級	C級	D級	T級	計
0.35mm	480	—	100	600	1,180
0.43mm	90	—	—	—	90
0.5mm	—	—	—	—	—
計	570	—	100	600	1,270

3、4月積中丸の申込と引受一申込2,700噸

今月から中丸の申込と引受を書くこととした。

中丸は9mmとは異なり比較的ベースに禍されず、一方製鐵所の能力關係に基因して常に不足勝ちであつた爲め、常に安全地帯に安住して居たが、あまりに永續する供給不足は却つて無統制の輸入を刺戟するものとして、一時若干の輸入をなし之を緩和し、最近に於ては一般の軟勢に連れて値段も平均され寧ろ薬が利き過ぎた感がある程となつた。然し市場の期待としては別に危惧の念を持つては居らず、將來に希望も失つても居らないから申込も2,700噸と相當の數量を擁して居る。引受高も前月と變らず860噸となつた。

3、4月積中丸申込及引渡高

	申込高	引受高
東	1,035	300
大	1,225	400
名	214	50
其	281	50
計	2,755	860

ピッチと2號石炭酸

1、ピッチ大口輸出繼續 一昨年の後半煉炭原料としての需要急増によつて一時前途の好轉を想はせたピッチの賣捌も其後生産數量の急増によつて再び往年の荷兎を來すのではないかと懸念されたが昨秋積出の歐洲向第1回大口契約成立によつて再び大きな光明を與へ着荷後工業本場の斯地で品質優良を一層保證せられた結果先般更に2回目の同方面商談が出来て目下盛んに積込み荷役中である。此度は前回より以上の大量契約であり此後益々有望視せらるゝに至つたが、斯く新販路を開拓し得たのは全く過去1年有半に亘つた神

戸某社の絶えざる努力の結晶であるのは勿論だが他面優良規格を誇とする品なればこそである。

現に新會社設立早々の今日更に第3回目の大口商談が殆んど成立するばかりの好状態である。因に前月末迄に於ける官營中の8年度ピッチ契約高は次の如し。

歐洲向輸出高	14,500 吨	其他の移輸出高	3,000 吨
内地向大口契約高	16,000 吨	其他の内地向	1,500 吨
計	35,000 吨		

2、2 號石炭酸續好調 相場の上騰が餘りに急激であつた丈に、北支事變の落着後大口需要の減少によつて市價の著しい反落を豫想せられた石炭酸は幸に多少の弛を見せた丈で其後も比較的に相當高値維持を傳へられて居る。

② 號石炭酸の入札價格もよく市況を反映して目下不需要期にあるにも不拘、常に1,300 圓を突破し1 月入札の如きは更に15,6 圓の高値を示して來た。官營中の既報後の契約數量及び落札者次の如し。

8 年 1 月の入札(月末渡)	噸	東京丹波屋商店
2 月	14,760	大阪三井物産
3 月	25,020	武田長兵衛商店
4 月	22,068	三井物産
5 月	9,324	東洋製藥
6 月	9,324	田邊五兵衛商店
7 月	14,004	武田長兵衛商店
8 月	13,104	三井物産
9 月	14,796	
10 月	18,828	
11 月	18,576	
12 月	20,592	武田長兵衛商店
計	19,152	東洋製藥
計	213,120	

9 年 1 月入札(2 月 15 日渡) 18,000 大阪三井物産

3、4 月積小型山形鋼の締切一申込 900 吨

世の中はそう理屈通り許りには動かぬもので、時には算盤を無視した勘定が出るが、そうあるのが或は常識かも知れぬ。

今月の小山の如きも賣出しの際には一向期待なく特に釜石サイズに對しての望みは寧ろ稀薄であつたが、別表申込を見ると162 吨の申込があつた、前月の200 餘吨に比すれば相當減少はして居るが環境から打算すれば寧ろ今月の方が申込が多いと見るべきであろう。

申込總計の900 吨も前月の500 吨減に止めることが出來た事は寧ろ市場の買氣の潜在力を肯定せしむる材料と見るべきである。

引受は釜石は全部引受け、製鐵所は前月同様600 吨に削除して全部で762 吨と前月より若干減少した。

3、4 月積小型山形鋼申込高及引受高

區別 向地	申込高			引受高		
	釜石	製鐵所	計	釜石	製鐵所	計
東大	15	150	165	15	120	135
阪	75	525	600	75	400	475
古	43	68	111	43	55	98
其	29	25	54	29	25	54
計	162	768	930	162	600	762

3、4 月積厚板共販締切理事會一申込 4,500 吨

月日場所 1. 月 23 日製鐵所東京出張所

出席者 淺野、東海及製鐵

議事 3、4 月積厚板の申込と引受に關する件

先月は買手の賣止め希望を裏切つて申込は1 萬4,000 吨と甚だしい不合理のものとなつたが、其原因は實際の欲しい數量を表明したものでなく、將來の分配率等を考慮した。プラフが多分に含有されて居たのは否まれぬ事實であつた。

今月は4 社關係だけは先月の無意味な申込を中止して、豫想される賣出數量だけ買はふではないかと云ふ思想が働いて先月の割當てだけを申込んだが、他の3 社が先月通りの申込をした爲め、結局4,500 吨に減じた。即ち先月に比すれば1/2 の申込減であるが、先月の申込が不純であつたから實質上は必ずしも今月が激減と云ふ言葉は使へぬと思ふ。

要するに買手は共販の賣だけの數量だけを已むを得ず引受けようと思ふ考が表に現はれたこと、判斷される。

引受に就ては賣出しの際の買手の言より見れば若干引受を減ずる必要あるにあらずやと云ふ意見と減ずるとすれば、安値を傳へられる定尺物を減少すべしと云ふ意見も出たが、定尺問題に就ては根本的に考慮すべき事情もあるを以て來月の賣出に於て檢討することとし減量問題に就ては厚板共販の傳統精神に基きあまり變化を與へざるが可なるべしとの意見に一致し數量は大體前月通りの次記を引受けることとした。

3、4 月積厚板申込及引受高

區別 先	申込高				計
	東京	大阪	名古屋	其他	
川崎	—	—	—	—	—
淺野	—	—	—	—	—
東海	—	—	—	—	—
製鐵	735	—	—	—	735
無指定	3,675	—	5	15	3,695
計	4,410	—	5	15	4,430
引受高	付尺板				3,240
	切板				400
計	3,600				3,600

2、3 月積線材の引受—7,000 吨

2、3 月積の線材は工場能力の關係から別表の通り前月より1,000 吨増加して7,000 吨を引受けた神戸は變らず製鐵所が1,000 吨増加し、輸出は前月通りで内地向に増量の全部を振り向けたのである。

凡そ市況と需要との因果關係に依つて右に左に動くものであるが線材は取り分け其の應報が過敏なので昨今のやうに稍市況が盛り返へし製品界も氣分を持ち直して來ると7,000 吨が9,000 吨でも喰ひ足りなく感ずるであらうが今日底値低迷より浮き上つたのは内外からの供給減少に依る轉換なので現在では此の程度を持して漸進するのが減食後健康への最も妥當なる處置であると見られてゐる。

輸出向としての2,000 吨は誠に僅小に過ぎるとの聲は屢々聞かされるので近き將來に於て當然打開の運命は講ぜられるであらうが現在實際には保稅物か振替物かは別として兎に角相當の數量が出てゐると云はれてゐるので内地向に追はれてゐる今日は此の程度で我慢しなければならぬのではあるまいか。

2、3 月積線材の引受高次の通り。

2、3 月積線材申込及引受高

區別 先	申込高			引受高		
	神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計
東大	—	—	—	782	1,065	1,847
阪	—	—	—	2,333	600	2,933
古	—	—	—	35	185	220
其	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	3,150	1,850	5,000
輸出向	—	—	—	1,350	650	2,000

東西市況—氣迷

現在の弱気材料は季節的の荷動沈滞と、舊正月接近に依る地方筋の不活潑であるが之れは内、満兩方面からの時勢的需要と來勤に依つて差し引かれて、大して借りにはならないものなので、値頃から云へば此の邊で買が入つてもよいのであるが、此處に製鐵合同後の成行懸念と云ふ大盤石が道を塞ぎ、岩戸の内部は知るに由ないと云はれてゐるので、必然之れが市場の重壓となり概して賣買共に見送るか成行で賣つて形勢觀望に逃げて自守自衛、茲許市況は懸念含みの氣迷商狀と云はれてゐる。

東京市況

丸鋼 細丸は大阪の伸鐵が積出しに手加減を加へても賣行沈滞の折柄 9 圓揚で取引されるれ昨今なのでザリ食を免れず。ベース丸は賣行依然として涉々しからざるに市中手持も相當に有り唱値 8 圓 60 錢と軟勢不變の處から自然賣人氣が弱氣を助長して 8 圓 4、50 錢で商談成立を傳へられてゐる。

中丸は舶來、九州共に在庫潤澤の爲め弱含保合ながらベース丸に比すれば荷動有つて稍明るく、中に 80mm, 90mm, 95mm, 100mm の如く販路狭少なる物とは云へ品薄物には 12 圓乃至 12 圓 50 錢を唱へられてゐる物もある。太丸は相變らずボツボツ出る程度で 12 圓 50 錢揚に保合つてゐる。

角、平鋼 角は需要がそれ程不振と云ふのではないが細物が伸鐵に押されて小甘いので總じて伸惱んでゐるが 44mm 以上は例に依り無物高で 11 圓 50 錢から 12 圓 50 錢の高値唱を持續してゐる。平鋼、民間サイズは問屋の手持も多く旁々製鐵合同後の成行も懸念されてゐるので商談概して見送られ茲許氣配軟弱、製鐵所分野は伸鐵の進出も大した事ではなく而もおいそれと手が出せないで賣崩しの心配はないが時節柄伸びもせず $3\frac{1}{4} \times 100mm$ が品薄に 12 圓 50 錢と上放れてゐる以外は高値を持って進退せずと云はれてゐる。

型鋼 小山形、伸鐵は定尺の製作が不得手なので此の方面への直接的影響は比較的少いと云はれてゐるが伸鐵が依然として横行してゐる間は望薄く市況不振は餘儀なしと見られてゐる。等邊中山形は 6×50 が品切状態なるに加へて荷動もあるので堅調なる處から延いて中山一般に氣配明るく。大型物も内、満向共に見積物が引續き現はれる上に大阪方面に思惑買も有つたとかで賤りを唱へられてゐる。不等邊も大型物は滿洲方面の入要買が傳へられ旁々買狙はれてゐる物なので好調を呈してをり中には 9×100×150, 12×100×150 の 36', 40' 等の如く寸法に依つては品切で 11 圓 50 錢と光つてゐる物もある。中型不變。溝形は一頃大阪方面に引かれて昂騰したが成行賣の物色買で賣惜しめせず旁々 ㊄ の積出關係と舶來物懸念に高値ながら益槍となり工形も入荷順調の爲め溝形と共に需要の追隨を離して不冴。

鋼板 鋼板も此處へ來て需要件はず搦て加へて業界の成行に氣迷つて賣買共に腰が入らず上つた儘小甘い商狀を呈してゐるが賣出値段との値鞘も少いので此の邊が底値ではあるまいかとの聲もある 1'6, 2'3 共に外注に對する懸念を生じて手を出さず。従つて相場も 20 錢方下押し、3'2, 4'5 も賣行不振、形勢觀望に氣配面白からざるも 4'5×5×10 は品薄の爲め 13 圓 60 錢方を唱へられてゐる。厚板も 6mm が大阪方面で買はれて 13 圓から 13 圓 20 錢、13 圓 3、40 錢と上向いた以外はメーカー關係の暗雲を氣遣つて低迷と見られてゐる。

大阪市況

丸鋼 兎角世の中はまゝにならぬものである。我輩鐵界も一昨年の下半期よりインフレ其他の好材料の出現により堅調を持續し昨

年もまづ好況裡に暮れたのであつた。従つて本年はより以上に活況を呈するであらうとの見解から伸鐵屋のみならず一般メーカーも實需といふことに就ては全く無關心であるかの如く増産又増産の有様にて市中滞貨甚だしく従つて昨今の市場は消化不良の爲め尠からず健康を害したものと如く相場はジリ貧歩調を辿り恰も休商同様の閑散振りを示してゐる。

6mm, 8mm は主として伸鐵品であるので市中在庫はさして多い方ではないが何分にも荷動き抄々しからざる處から氣配は保合と云はれてゐる。9mm の賣買は主として切揃品のみと云はれ定尺物は大きく引合なく相場も別表の如く原價維持程度と見られてゐる。12mm 凡調。ベース物は荷廻り順調なるに反し賣行不振にて金融の關係で投げ賣する向もあり従つて相場は崩れ易い。中丸は市中在庫は普通であるが過般來 12 メーカーが生産を開始したとの報に氣を悪くし相場は伸びそうで伸びない。但し 80mm 以上の中丸は手當薄から 12 圓と光つてゐる。太丸は 12—12 圓 50 錢見當で前旬と不變。

桐火桶人來て閑を奪ひけり

角、平鋼 角鋼は概して 10 圓内外に取引されてゐるが全く商内の妙味に乏しい。而し中形以上のものは纏つた荷動きはないが手當薄のため 10 圓以上で取引されてゐる。平鋼は市中在庫は普通の状態にあるがとに角賣行不振のため相場は頭重く寸法によりては逆鞘を示してゐる。

型鋼 小形アングルは伸鐵安値品が市場を往來し賣行抄々しからざる處から相場は原價維持程度と見られてゐる。中形アングルは荷動き弗々あるが何分にもアウトサイダー竝に伸鐵方面よりの荷廻り順調なる爲め市中在庫漸増の態にて各問屋共市況悪化防止に懸命になつてゐる處から相場も釘付け化されて面白味は乏しい。大形アングル、ジョイスト竝にチャンネルは市中在庫偏在し従つて相場は區々ながら氣配は概して小賤りと云はれてゐる。

鋼板 1、2 中板は最近相當纏つた荷動きあり市中品掠れと相俟つて強調を示し就中 3'2 は別表の如く 14 圓 1,30 錢と異彩を放つてゐる。厚板は共販のものは市中品薄であるがアウトサイダーよりの出廻り良好なるためとシャアの耳附鋼板とのため相場は頭重い。

線材 需要期接近と共に市場は稍々活況を呈して來たやうである。一方製品輸出も相當旺盛を極めてゐるとの事で目先期待されてゐる。

鐵力板 一部思惑筋の策動のために市中在庫は偏在してゐるやうであるが先般大量の入荷あり外注品も殆んど消化されたものと如く従つて氣配は小賤りと云はれてゐる。昨今の地方實需筋の食指の動き振りよくして目先期待する向きが多い。

1 月中の日誌

- 3 日 本日入電の大陸外注値段次の通り。(爲替 $\frac{1}{2}$ — $\frac{3}{4}$)
Bar Base 5-2-0, Angle Base 5-2-0, Plate Base 6-9-9
- 4 日 米國財務省發表年報に依れば 1933 年 7 月 1 日より 34 年 6 月 30 日に至る現會計年度の赤字は平時としては未曾有の巨額で次の通り(單位 1,000 弗)
歳出、9,891,178 歳入 3,259,938 差引 6,631,240。
○米國の赤字公債は 1935 年 6 月 30 日迄に 318 億 3,400 萬圓に達するので弗の平價切下げ必至と見らる。
- 5 日 曲折 3 ヶ月餘日印會商遂に成立し 8 日より起草委員會に入る。本條約の效力はロンドンに於ける調印にて發生す。
- 6 日 本日入電の大陸外注値段次の通り(爲替 $\frac{1}{2}$ — $\frac{3}{4}$)
Bar Base 5-2-9, Angle Base 5-2-9, Plate Base 6-10-9

- 昭和 8 年中鋼材三港輸入數量は 26 萬 9,000 噸、7 年は 13 萬 3,000 噸。尙ほ 8 年 12 月の輸入數量は激減して 8 年中の最少 8,800 噸となる。
- 8 日 鋼材市況は閑散なれど丸鋼の嫌氣投げを除き概して強合保合と云はる。
- 9 日 銑鐵の取引は順調、相場は組合銑 1 號 53 圓、同 2 號 51 圓同 3 號 50 圓英國クリブランド 90 圓と大體保合。
- 12 日 福建革命政府覆滅し、各機關中央海軍に接收さる。
- 13 日 東京丸鋼組合協定値段は据置。
- 15 日 平價を 4 割乃至 5 割切下げて商品弗制を採用せんとする米國大統領の新貨幣政策に關する暫定法案正文公表さる。
○米國の平價切下説爲替市場に響かず正金建値は据置。
○スチール株 4 弗 8 分 5 奔騰して 53 弗 2 分 1 となる。
- 16 日 アイアン、エージ誌に依れば最近 1 週間の米國鋼鐵生産率は前週より 2%増加して 33%となる。
○本日入電の大陸外注値段次の通り (爲替 1/2-1/4)
Bar Base 5-5-3, Angle Base 5-5-6, Plate Base 6-14-3
- 17 日 製鐵所、岩井、安宅にて構成せる特線會は舊臘 14 日神戸製鋼、日商を加はへて精線會と改め 1、2 月積賣出を行つたが本日其の第 2 回、2、3 月積賣出協議會を開催す。
○米國の平價切下、本邦の金買上價格改訂説等の好材料に株式市場は産金株中心となり連れて諸株強調を呈す、日産短期は 125 圓。
- 18 日 上海筋の弗買、圓賣の影響を受け對米爲替 30 弗を割り 29 弗 8 分 5 となる。
○伊太利下院は、職業代表法案を可決し同時に自動的に解消す。
○鋼材市況、丸鋼不相變不勢なれど其の他は氣配大して悪しからず多少の強弱含みの保合程度。
○中山製鋼の 2 月積線材賣出値段は 2 圓上げの 112 圓、
- 20 日 滿洲國は 3 月 1 日を以て帝政を實施する旨聲明す。
- 22 日 荒木陸軍大臣願に依り本官を免ぜられ林銑十郎大將陸軍大臣に任ぜらる。
○鋼材聯合會、製鋼原料共同購買會、各種生産分野協定會は當分存続の事に決定す。
○日本丸鋼共販 1、2 月積丸鋼建値はベース物 3 圓 下げの 87 圓と決定。因に組合の 12 月中丸鋼生産高は約 1 割減少して 2 萬餘噸となる。
- 23 日 第 65 議會再開さる。
- 25 日 製鐵合同參加の民間 5 社釜石、輪西、九州、富士、三菱の合同正式調印終了。第 1 次合同資産次の通り(單位 1,000 圓)
製鐵所 239,195 輪西 11,612 釜石 22,994
富士 2,773 九州 7,204 三菱 17,057
他に製鐵所流動資本 45,000 重役持株 105
總額 345,940
- 26 日 特別委員會作成の日本製鐵株式會社定款は本日設立委員會に附議可決の上商相に認可申請、商相は定款中の資産評價に關する分を評價審査委員會に附議し其の可決を得たので直ちに關係大臣と合議の上認可の發令を見た。
- 27 日 佛國ショータン内閣總辭職す。
○弗價改訂法案米國上院を通過す。
○鋼材市況は合同後の成行懸念に氣迷低迷。

- 29 日 日本製鐵株式會社創立總會開催、重役其の他必要なる事項は豫定通り決定す。
○日鐵重役の初會合開かれ下記の件を附議決定す、(1) 職制制定の件(2) 本社所在地決定の件(3) 地方製鐵所及鑛業所設置の件(4) 地方所長任命の件(5) 重役會日取決定の件(6) 東洋製鐵に關する件
○米國下院に於て弗價改訂法案採擇さる。
- 30 日 大阪製鐵は臨時株主總會に於て製鐵合同參加問題は重役一任と決定。
○神戸製鐵は昨下期決算に於て配當 6 分復活に内定したが 5 分に變更。
○佛國グラディエ内閣成立す。
○大陸外注値段不變。
○スチール株 57 弗 8 分 3、短期新東 174 圓、日産 133 圓 50 錢。
- 31 日 東洋製鐵臨時株主總會に於て 3 月 31 日解散の件承認され従つて合同參加確定す。
○製鐵合同に關する貴族院に於ける質問は昨日より引續き今日の議會に於て終了。
○米國大統領は平價を 59 セント 06 即ち約 4 割 1 分切下げ實行を布告す。

1 月 中 爲 替 相 場

區 月/分 日	對 米	對 英	區 月/分 日	對 米	對 英
1. 4	30-1/4	1/2-1/8	19	29-1/4	"
6	"	"	20	29-3/8	"
8	30-3/8	"	22	29-1/2	"
9	30-1/8	"	23	"	"
10	30-	"	24	"	"
11	"	"	25	29-3/8	"
12	29-7/8	"	26	29-1/8	"
13	"	"	27	"	"
15	"	"	29	"	"
16	30-1/4	"	30	29-1/2	"
17	29-7/8	"	31	29-3/8	"
18	29-1/8	"			

昭和8年12月中發表各種鋼材先物建値表

所屬別	區分 種類	外注値段			建値 月日	積 月				備 考	
		沖着	爲替	河岸着		1、2 月積	2月積	2、3 月積			
關東鋼材	丸鋼 { 9mm 50mm-100mm ベ - ス	£5-13-9 5-6-0 5-2-0	½-¼ " ½-⅓	121'41 114'98 112'41	月日	円	円	円	円	据置 値段11月發表通り	
製鐵所	角鋼製鐵所 大工形鋼 溝形鋼	£5-3-0	½-⅓	112'87	12.5				106	据置	
		5-3-0	"	112'87	"				106	"	
		5-4-6	"	114'12	"				105	"	
		4-17-9	"	108'50	"				101	"	
		5-11-0	"	119'53	"				114	"	
		5-0-3	"	110'58	"				101	"	
		5-3-0	½-¼	112'50	12.6					賣止め	
中型山形共販	中型山形 { 等 不 等 邊	5-3-0	½-¼	112'50	12.6					賣止め	
		6-6-0	½-⅓	132'01	12.4				108	据置	
		5-12-6	"	120'08	"				100	"	
小型山形共販	小型山形 { 3×20mm 3×25mm-5×30mm 5×40mm-6×45mm	5-7-9	"	116'82	"				95	"	
		6-12-0	½-⅓	136'05	12.12				110 118	据置	
		6-15-0	½-¼	145'85	12.6				142	据置	
厚板共販	厚板 { 耳 定 付 尺	6-8-0	"	140'06	"				137	"	
		7-1-9	"	144'61	"				132	"	
		6-10-5	"	135'22	"				124	"	
		6-10-0	½-⅓	228'96	"					賣止め	
中板共販	中板 { 1'6mm 2'3mm 3'2mm 4'5mm	6-8-0	"	140'06	"				137	"	
		7-1-9	"	144'61	"				132	"	
		6-10-5	"	135'22	"				124	"	
		12-12-6	½-⅓	232'79	"					賣止め	
		12-7-6	"	216'49	"					"	
		12-12-6	"	194'83	"					"	
		12-7-6	"	180'34	"					"	
常盤會	黑薄板 { 13枚物 6呎 7呎 8呎 輸出向 { 13枚物 6呎 7呎 8呎	11-0-0	½-⅓	228'96	"					賣止め	
		9-0-0	"	195'09	"					"	
		7-15-0	"	162'25	"					"	
		6-0-0	½-⅓	120'49 100'75	12.14 "	112 98				8圓下げ 2圓下げ	
		\$ 7.45	\$ 30¾	26'08	12.13	25 60				40錢下げ 30錢下げ	
		7'85(200lbs)"	13'8"	13'8"	"	13 70				"	
製鐵所	珪素鋼板 (函入) { B-級 C-級 D-級 T-級	21-2-6	½-⅓	365'67	12.11				305 325 345 420	据置	
		27-11-6	"	474'96	"					"	
製鐵所	美裝鋼板 { #18以下 { 鷲印 1'6mm以上 { 鷲印 鳩印				12.11					发表せず	
					"					"	
					"					"	"
					"						"
		6-18-0	½-⅓	140'50	12.8					3圓上げ	
		8-12-0	½-⅓	176'85	12.8	176				据置	
		8-11-0	½-⅓	165'94	12.2					次回三軌會迄 150圓	
鋼矢板	輕軌條 { 10哩未滿上 10哩以上	5-13 8	½-⅓	115'20	11.13					据置	
					2.8					次回會議迄 155圓	

昭和8年12月中製鐵所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		100	216	中形不等邊山形鋼		中鋼板		耳付中鋼板		14	49	軌附計 32,599	
小形丸鋼		計	1,719	mm mm		0.75mm	7	4.5mm	7	15	16	線釘材の部	
9mm	4,023	角鋼計	2,603	65×50	369	0.8	3	5	8	16	1	線材	
10	3	小形平鋼		75×50	158	1.0	112	計	15	20	5	5.5mm	7,543
12	103	19mm	188	75×65	232	1.2	7	耳付厚鋼板		計	204	計	7,543
13	7	22	255	90×60	90	1.4	41	珪素鋼板		0.35mm	1,124	製釘材	
14	7	25	145	計	849	1.5	4	6mm	282	0.43	231	5.5mm	3,277
15	16	32	326	大形不等邊山形鋼		1.6	1,181	7	55	0.5	26	計	3,277
16	35	38	9	mm mm		1.8	9	8	122	計	1,381	鋼線	
18	5	44	11	150×100	1,023	1.85	649	9	637	鋼線		10mm	1
19	28	50	13	計	1,023	2	35	9.5	1	鋼線		9	1
20	6	55	2	不等邊計 1,911		2.3	775	10	197	鋼線		7	1
21	41	計	949	溝形鋼		2.5	5	11	359	鋼線		6	2
22	48	中形平鋼		mm mm		2.6	72	12	775	鋼線		5	3
23	2	60mm	3	100×50	664	2.9	191	13	13	鋼線		3	34
24	49	65	76	125×65	595	3	20	14	114	鋼線		0.65	2
25	277	70	16	150×75	1,401	3.2	412	15	19	鋼線		其 他	1
26	44	75	143	180×75	373	3.5	273	16	376	鋼線		計	45
28	72	90	124	200×70	825	4	341	17	7	鋼線		線釘計 10,865	
30	12	100	93	200×80	1,010	4.5	443	18	88	鋼線		其他の部	
32	138	125	554	200×90	829	4.8	3	19	117	鋼線		鍛成品	
34	14	計	1,009	380×100	1,388	5	222	20	90	鋼線		普通鋼	112
36	5	平鋼計	1,958	6''×2½''	397	5.5	11	22	37	鋼線		特種鋼	20
計	4,935	計	1,009	6×3	191	計	4,816	25	9	鋼線		坩堝鋼	14
中形丸鋼		其他の棒鋼		計	7,673	厚鋼板		27	3	鋼線		電氣爐鋼	89
50mm	429	引 拔	24	工形鋼		6mm	1,213	28	6	鋼線		電氣爐鋼	1
55	253	引 磨	51	3''×3''	62	6.4	8	30	7	鋼線		電氣爐鋼	236
60	42	氣 爐	75	mm mm		6.5	13	31	36	鋼線		其他	324
65	156	鋼 角	75	125×75	378	7	497	32	9	鋼線		輪 軸	558
70	106	計	75	150×125	533	7.6	3	33	22	鋼線		ボルト	64
75	353	棒鋼計	11,851	180×100	418	8	1,464	35	2	鋼線		ナット	3
80	144	型鋼の部		300×150	720	9	1,108	37	1	鋼線		ナット	55
85	49	小形等邊山形鋼		400×150	1,108	9.5	10	38	6	鋼線		リベット	1,004
90	311	20mm	233	計	3,219	10	1,438	40	4	鋼線		計	1,240
95	64	25	264	乙形鋼		11	3	48	5	鋼線		鋼材計 98,522	
計	373	30	91	mm mm mm		乙形鋼		50	7	鋼線		銑 鐵	
丸鋼計 7,215		35	7	150×75×65	105	12	1,081	55	10	鋼線		本 所	58,215
小形角鋼		40	100	計	105	12.7	17	60	10	鋼線		戸 畑	9,746
9mm	1	45	127	丁形鋼		13	106	65	33	鋼線		洞 岡	34,250
12	40	計	822	2''×2''	3	14	576	70	61	鋼線		計	97,210
16	52	中形等邊山形鋼		6×4	2	15	66	75	21	鋼線		販 賣	5,947
19	66	60mm	26	鋼 矢 板		綫中鋼板		80	7	鋼線		塊	
22	27	70	162	nm mm		綫厚鋼板		88	1	鋼線		普通鋼	139,947
25	92	60	372	400×75	198	綫薄鋼板		9	2	鋼線		坩堝鋼	39
28	13	75	608	計	198	鋼板の部		8	2	鋼線		電氣爐鋼	1,662
30	7	100	350	型鋼計 16,962		薄鋼板		12	4	鋼線		鑄 造	263
32	583	計	1,519	條鋼計 28,813		薄鋼板		12	20	鋼線		鋼材計 141,911	
34	1	大形等邊山形鋼		鋼板の部		薄鋼板		計	121	鋼線			
36	2	130mm	692	鋼板の部		薄鋼板		綫中鋼板		鋼線			
計	884	200	818	鋼板の部		薄鋼板		綫厚鋼板		鋼線			
中形角鋼		計	1,510	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫中鋼板		鋼線			
38	580	等邊計	3,851	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
40	4	小形不等邊山形鋼		鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
44	54	130mm	692	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
46	7	200	818	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
48	9	計	1,510	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
50	75	等邊計	3,851	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
55	127	小形不等邊山形鋼		鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
57	572	mm mm		鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
80	7	50×35	39	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			
90	68	計	39	鋼板の部		薄鋼板		耳付綫厚鋼板		鋼線			

昭和8年12月中製鐵所品種寸法別生産高 (其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
鋼片		シートバー		短尺及屑鋼									
外部向	5,562	外部向	9,045	短尺	1,511								
内部向	93,691	内部向	12,507	屑鋼	3,025								
計	99,253	計	21,552	計	4,536								

昭和8年12月中製鐵所品種別揚地別發送高 (單位噸)

分類		内 地 向												輸 出 向			合計	
		阪 神		京 濱		名古屋		其 他		當 所		計			滿洲	支那		計
		官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計				
厚鋼板	6mm以上	19	3,620	673	2,558	—	62	1,514	209	1	129	2,207	6,578	8,785	251	—	251	9,036
中鋼板	1mm-6mm未滿	10	1,540	108	1,547	4	216	267	37	—	40	389	3,380	3,769	—	—	—	3,769
薄鋼板	1mm未滿	6	948	—	637	—	—	1	—	—	30	7	1,615	1,622	—	—	—	1,622
特殊鋼板	— 括	—	362	2	192	—	4	—	—	—	—	2	558	560	—	—	—	560
珪素鋼板	—	—	183	—	1,024	—	—	—	290	—	18	—	1,515	1,515	—	—	—	1,515
鉞力板	100	56	877	123	1,185	—	11	90	56	—	236	269	2,365	2,634	82	—	82	2,716
大形丸鋼	100mm超	2	181	114	143	—	5	32	—	3	21	151	350	501	—	—	—	501
中形丸鋼	36mm超	106	2,492	276	786	6	172	118	19	—	141	506	3,610	4,116	—	—	—	4,116
小形丸鋼	36mm以下	—	1,632	187	1,768	—	434	46	30	—	339	233	4,203	4,436	721	—	721	5,157
大形角鋼	100mm超	—	4	—	28	—	—	14	—	—	5	14	37	51	—	—	—	51
中形角鋼	36mm超	—	343	3	211	1	11	11	2	—	6	15	573	588	—	—	—	588
小形角鋼	36mm以下	—	256	—	165	—	51	4	5	—	502	4	979	983	58	—	58	1,041
中形平鋼	巾55mm超	2	308	55	332	—	21	37	10	—	8	94	679	773	—	—	—	773
小形平鋼	巾55mm以下	—	445	1	355	—	56	10	8	—	5	11	869	880	—	—	—	880
特殊形棒鋼	半丸、六角八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スケルブ	— 括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大形山形鋼	等邊不等邊片100mm超	628	2,493	277	527	—	4	511	132	—	8	1,416	3,164	4,580	—	—	—	4,580
中形山形鋼	〃 50mm超	4	1,308	112	330	—	264	316	48	—	56	432	2,006	2,438	—	—	—	2,438
小形山形鋼	〃 50mm以下	1	349	2	281	—	45	19	10	—	59	22	744	766	40	—	40	806
溝形鋼	— 括	104	2,841	5	1,610	—	118	192	100	—	29	301	4,698	4,999	40	—	40	5,039
工形鋼	—	394	2,927	15	1,192	—	20	588	6	—	5	997	4,150	5,147	40	—	40	5,187
特殊型形鋼	球山 Z.T. 括	—	69	14	22	—	—	24	—	—	—	38	91	129	—	—	—	129
鋼 矢 板	— 括	—	23	—	38	—	41	—	—	—	171	—	273	273	432	164	596	869
重 軌 條	22kg以上	3,796	302	2,874	354	—	587	3,656	15	—	147	10,326	1,405	11,731	14,459	—	14,459	26,190
輕 軌 條	22kg未滿	—	1,500	136	685	—	58	77	539	—	313	213	3,095	3,308	—	—	—	3,308
軌條附屬品及線材類	— 括	160	35	—	34	—	1	483	8	—	16	643	94	737	602	—	602	1,339
販賣用鋼片	—	12	398	33	494	—	29	6	—	—	5,299	51	6,220	6,271	—	—	—	6,271
販賣用鋼塊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
販賣用シートバー	—	—	3,445	—	—	—	—	—	4,166	—	3	—	7,614	7,614	—	—	—	7,614
外車輪及品	—	—	—	260	—	—	—	48	—	—	—	308	—	308	—	—	—	308
重 軸 成 尺	—	—	514	—	53	—	—	35	—	—	15	35	582	617	—	—	—	617
短 尺 鋼	—	—	305	—	460	—	158	—	—	105	50	105	973	1,078	—	—	—	1,078
特殊鋼條鋼	— 括	—	—	—	113	—	—	—	1	—	—	—	114	114	—	—	—	114
鋼 材 計		5,300	33,789	5,273	19,122	11	2,418	8,100	5,691	109	11,356	18,793	72,376	91,169	16,725	164	16,889	108,058
銑 鐵		—	4,653	—	3,509	—	—	—	400	—	—	—	8,562	8,562	—	—	—	8,562
販賣用屑鋼		—	39	—	39	—	—	—	—	—	3,253	—	3,331	3,331	—	—	—	3,331

東京大阪市中相場

(大阪 下 12月27日 上 1月6日 中 1月15日)
 (東京 下 12月28日 上 1月8日 中 1月18日)

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
	丸		鋼			
6mm	10.20	9.20	10.00	9.30	9.90	9.20
9	8.60	8.60	8.60	8.80	8.60	8.80
12	"	"	"	"	"	8.90
19	"	8.55	"	8.60	"	8.70
25	"	"	"	"	"	"
50	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.20
65	"	"	"	"	"	"
	角		鋼			
9mm	9.80	9.20	9.70	9.50	9.70	9.50
12	"	9.40	"	"	"	"
15	"	9.30	"	"	"	"
19	10.50	10.50	10.30	11.00	10.50	10.50
38	11.50	12.00	11.50	12.00	11.40	11.50
	平		鋼			
mm mm						
6×38	9.00	9.20	9.00	9.20	9.00	9.20
6×50	"	"	"	"	"	"
6×75	11.30	9.70	10.80	9.70	10.50	9.60
9×100	11.50	"	11.50	"	11.50	9.70
12×100	"	"	"	"	"	"
	等邊山形鋼					
mm mm mm						
6×50×50	10.20	10.00	10.40	10.00	10.70	10.50
6×65×65	9.90	"	10.00	"	10.00	10.10
9×75×75	"	"	"	"	"	10.00
9×130×130	11.30	11.00	11.50	11.30	11.50	11.80
12×130×130	10.80	"	"	"	"	11.70
12×150×150	11.00	"	11.10	"	11.40	12.00
	不等邊山形鋼					
mm mm mm						
10×50×75	10.00	10.50	10.00	11.30	10.00	10.00
10×75×100	10.50	"	10.50	11.00	10.70	11.50
10×90×125	"	"	"	"	11.00	"
9×100×150	10.80	11.00	11.00	11.30	11.30	12.00
12×100×150	"	"	"	"	"	"

寸法	12月下旬		1月上旬		1月中旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
	溝		形		鋼	
mm mm mm						
5×50×100	11.70	12.00	11.70	12.00	11.60	12.30
6×65×125	12.40	12.30	12.50	12.50	12.50	13.00
3/4×3"×6"	12.30	"	"	"	"	12.50
3/4×3×8	11.50	11.50	11.50	11.50	11.40	12.00
9×90×250	12.50	13.50	13.00	13.50	12.90	14.00
10×90×300	16.00	17.00	16.00	17.00	16.00	15.80
	工形鋼					
mm mm mm						
5.5×75×150	11.00	10.80	11.00	11.50	11.00	11.80
7×100×200	10.70	10.50	10.70	11.00	10.90	11.20
8×150×300	11.00	11.00	11.00	11.50	11.20	11.50
12×150×350	11.50	"	11.50	"	11.60	11.80
10×125×250	11.40	"	12.00	"	11.50	11.50
	鋼板					
mm						
1.6×3'×6"	14.50	13.90	14.80	14.20	15.00	14.60
1.6×4×8	14.80	14.80	15.10	15.20	15.20	15.40
3.2×4×8	14.00	13.80	14.00	14.00	14.20	14.10
3.2×5×10	14.10	14.00	14.20	14.20	14.30	14.20
6.0×4×8	12.80	12.50	12.90	13.00	13.00	13.20
6.0×5×10	"	"	"	"	"	"
9.0×4×8	12.50	12.00	12.60	12.00	12.70	12.20
9.0×5×10	"	"	"	"	"	"
	薄鋼板(13枚)					
英川	—	—	—	—	—	—
八	—	—	—	—	—	—
英	55.0	58.5	56.0	57.5	56.0	57.0
米	55.0	58.5	56.0	57.5	56.0	57.0
	鋳力板					
英	170	26.00	26.60	26.00	26.00	26.00
米	100	14.20	14.70	14.20	14.25	14.20
八	170	25.30	26.10	25.30	25.90	25.50
八	100	14.00	14.00	14.00	14.00	14.20
八	170	26.20	26.30	26.00	27.20	26.30
八	100	14.30	14.30	14.30	14.00	14.20
	線材					
No. #	115.00	116.00	116.00	120.00	116.00	115.00

備考 単位 100kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

昭和 8 年 12 月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品 種	神 戸	大 阪	横 濱	12 月 計	前 月 計	本 年 累 計	前 年 同 期 累 計
丸 鋼	126	70	124	320	889	30,068	6,722
角 鋼	8	—	17	25	65	3,836	1,275
平 鋼	14	—	57	71	106	13,253	4,975
等 邊 山 形 鋼	—	208	50	258	432	24,018	792
不 等 邊 山 形 鋼	33	21	1	55	10	3,898	555
溝 形 鋼	—	15	63	78	239	2,990	565
工 形 鋼	—	—	—	—	44	969	607
鋼 板 (0.7mm 超)	105	2,499	836	3,440	2,636	75,531	6,785
鋼 板 (0.7mm 以下)	—	—	—	—	1	2,492	10,739
鋳 軌	707	493	828	2,028	4,389	59,770	53,802
線 材	—	613	—	613	435	3,366	3,849
シ ー ト	82	—	107	189	1,594	24,571	19,122
鋼 其 他	26	—	105	131	67	2,384	9,528
計	10	219	204	433	969	7,029	5,212
	331	535	328	1,194	648	15,259	8,470
計	1,442	4,673	2,720	8,835	12,524	269,434	133,098
硫 石	3,050	—	1,676	4,726	11,451	92,625	84,184
炭	10	—	—	10	—	116	156
フ タ	—	50	36	86	—	2,879	3,036
レ ヅ	10	15	15	40	89	1,575	765

東京大阪市中相場

{大阪 1月25日
東京 1月29日

1 月 下 旬

丸 鋼		東京 大阪		mm mm mm		東京 大阪		鋼 板		
6mm	9.80	9.00	9×75×75	10.00	10.00	1.6×3'×6	14.80	14.20		
9	8.50	8.60	9×130×130	11.60	11.50	1.6×4×8	15.00	15.00		
12	"	8.70	12×130×130	"	"	3.2×4×8	14.00	14.00		
19	"	8.60	15×150×150	11.50	"	3.2×5×10	14.20	14.20		
25	"	"	不等邊山形鋼				6.0×4×8	13.30	13.30	
50	11.00	11.00	mm mm mm	10.00	11.50	6.0×5×10	"	"		
65	"	"	10×50×75	10.60	10.50	9.0×4×8	12.60	12.20		
			10×75×100	11.00	"	9.0×5×10	"	"		
			10×90×125	11.30	11.50	薄鋼板 (13枚)				
			9×100×150	"	"	英				
			12×100×150	"	"	川 崎	57	58.0		
			溝 形 鋼				八 幡	57	58.0	
			mm mm mm	11.50	12.00	鈹 力 板				
			5×50×100	12.40	12.80	米	{170lbs	26.30	26.10	
			6×65×125	"	12.50		{100	14.20	14.30	
			3/8×3"×6	11.40	12.00	英	{170	26.00	26.20	
			3/8×3×8	12.90	13.00		{100	14.00	14.30	
			9×90×250	15.50	14.00	八 幡	{170	26.50	26.70	
			10×90×300	"	"		{100	14.20	14.40	
			工 形 鋼				線 材			
			mm mm mm	10.90	11.50	No. 5#	115.00	115.00		
			5.5×75×150	10.80	11.00					
			7×100×200	11.00	11.50					
			9×150×300	11.50	13.00					
			12×150×350	"	11.50					
			10×125×250	"	11.50					

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は噸當り。鈹力板は1箱當り。

自昭和8年12月下旬至同9年1月下旬各種輸入速報

區分 品名	12月18日~27日 12月下旬				12月28日~1月27日 1月上旬				1月18日~27日 1月下旬												
	神戸		大阪		横濱		合計		神戸		大阪		横濱		合計						
	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	上中旬	左同	左同	左同	左同	本旬	本月累計	本旬	本月累計				
薄板 (0.7mm以下)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
鈹力板	345	721	173	920	287	842	805	2,483	255	1,451	1,169	2,875	68	323	1,209	2,660	373	1,542	1,650	4,525	
線材 (B.W.G.No. 5)	其	219	—	151	3	106	3	476	42	—	407	449	—	42	—	—	407	—	407	—	449
	他	—	120	—	10	10	10	130	137	5	11	153	14	151	—	5	—	11	14	14	167
計	—	339	—	151	13	116	13	606	179	5	418	602	14	193	—	5	—	418	14	14	616
中板	1.6mm	—	—	76	10	182	10	258	20	3	111	134	—	20	181	184	20	131	201	335	
	2.3	—	—	82	105	90	210	172	315	31	100	87	218	—	31	66	166	91	178	157	375
	3.2	1	62	—	31	133	163	134	256	—	158	257	415	—	—	158	—	257	—	415	
	4.5	1	1	51	103	11	11	63	115	—	—	—	—	—	—	—	17	17	17	17	
其	—	58	—	—	17	74	17	132	—	—	447	447	—	—	—	30	477	30	477		
計	2	121	133	315	261	640	396	1,076	51	261	902	1,214	—	51	247	508	158	1,060	405	1,619	
厚板	6mm	—	—	77	89	92	89	169	13	—	—	13	—	13	—	—	71	71	71	84	
	8	—	—	25	—	—	—	25	10	—	—	10	—	10	—	—	—	—	—	10	
	9	—	—	25	—	66	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	12	—	—	24	—	—	—	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
其	3	39	—	50	5	5	8	94	3	6	16	25	171	174	28	34	205	221	404	429	
計	3	39	—	201	94	163	97	403	26	6	16	48	171	197	28	34	276	292	475	523	
中等邊	50mm	—	—	—	—	8	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	102	102	102	102	
	65	—	—	—	30	42	30	42	—	—	—	—	—	—	—	—	66	66	66	66	
	75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	90	—	—	—	—	4	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
其	—	15	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	15	—	—	30	54	30	69	—	—	—	—	—	—	—	—	198	198	198	198	

昭和9年1月中發表各種鋼材先物建値表

所屬別	種別	分	外注値段			建値 月日	積				備考		
			沖着	爲替	河岸着		1、2月積	2、3月積	3月積	3、4月積			
關東鋼材	丸鋼	9mm 50mm-100mm	£5-13-3	1/2-1/8	121.82	月日	円	円	円	円	85	3圓下げ 据置 3圓下げ	
			5-5-0	〃	114.92						105		
			5-5-6	〃	115.34						87		
製鐵所	丸鋼	山形	£5-2-9	1/2-1/4	112.40	1.11					106	据置 〃 〃 〃 〃 〃	
			5-2-9	〃	112.40	〃					106		
			5-4-0	〃	113.43	〃					105		
			4-19-0	〃	109.29	〃					101		
			5-10-3	〃	118.62	〃					114		
			4-18-3	〃	108.66	〃					101		
中型山形共販	中型山形	{ 等邊 } { 不 等 邊 }	5-2-9	1/2-1/4	112.40	1.12				96 97	据置 〃		
小型山形共販	小山形	{ 3x20mm 3x25mm-5x30mm 5x40mm-6x45mm }	6-5-6	1/2-3/16	131.73	1.15					108	据置 〃 〃	
			5-12-0	〃	120.48	〃					100		
			5-7-6	〃	116.74	〃					95		
厚板共販	厚板	{ 耳定 } { 付尺 }	6-14-0	1/2-3/16	138.68	1.18				110 118	据置 〃		
中板共販	中板	{ 1.6mm 2.3〃 3.2〃 4.5〃 }	6-17-6	1/2-1/8	148.94	1.13					142	据置 〃 〃 〃	
			6-11-6	〃	143.92	〃					137		
			7-3-3	〃	146.91	〃					132		
			6-10-9	〃	136.46	〃					124		
常盤會	黑薄板	{ 13枚物 内地向 6呎 } { 7呎 } { 8呎 } { 13枚物 輸南向 6呎 } { 7呎 } { 8呎 }	12-12-6	1/2-1/4	231.00	1.24						輸出値段は内地向と同値	
			12-7-6	〃	214.60	〃							
			12-12-6	〃	193.00	〃							
			12-7-6	〃	178.60	〃							
	黑厚板	{ 12枚物 11〃 10〃 9〃 8〃 7〃 6〃 5〃 4〃 3〃 }	11-0-0	1/2-1/4	227.30	〃					賣出なし 156 155 150 149 148 147 146 145 144		
			9-0-0	〃	193.80	〃							
			7-15-0	〃	161.00	〃							
			6-0-0	1/2-1/4	123.30	1.17					112		
					101.63	〃					98		
					\$ 7.50	\$30 1/2	26.23	1.16					25.60
製鐵所	線材共販	線材 { 内地向 } { 輸南向 }	6-0-0	1/2-1/4	123.30	1.17					112	据置 〃	
					101.63	〃					98		
	鋼板	鉾力板	{ 170lbs 100 }	\$ 7.50	\$30 1/2	26.23	1.16				25.60	据置 〃	
				200lbs 8.00	〃	28.06	〃						13.70
		珪素鋼板 (函入)	{ B-級 C-級 D-級 T-級 }	21-2-6	1/2-1/4	362.45	1.19					305 325 345 420	据置 〃 〃 〃
				27-11-6	〃	470.76	〃						
		美裝板	{ #18以下 } { 1.6mm以上 }	{ 鷲印 } { 鷲印 } { 鳩印 } { 鳩印 }				1.19					据置 〃 〃 〃
		鋼板	縞鋼板		6-19-6	1/2-1/4	142.78	1.24					4.5mm 138 60 135
8-10-5	1/2-1/4				175.66	1.25				176		据置	
8-11-0	1/2-3/16				164.67	1.24						次回三軌會迄150圓(据置)	
5-13-8	1/2-1/2				115.20	11.13						据置	
	鋼	矢板				8.2.8					次回會議迄 155圓		